

札幌市の自殺の現状

札幌市精神保健福祉センター

令和5年12月更新版

目 次

本資料「札幌市の自殺の現状」について.....	1
第1部 札幌市の自殺の状況.....	3
1. 死因順位別にみた年齢階級・死亡数・死亡率・構成割合.....	3
2. 自殺者数及び自殺死亡率の状況.....	5
(1) 厚生労働省「人口動態統計」.....	5
(2) 厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」.....	6
3. 年代別自殺者の状況.....	8
(1) 自殺者数.....	8
(2) 自殺死亡率.....	10
4. 職業別自殺者の状況.....	12
(1) 自殺者数.....	12
5. 原因・動機別自殺者の状況.....	14
6. 同居人の有無別自殺者の状況.....	16
7. 自殺未遂歴の有無別自殺者の状況.....	18
8. 場所別自殺者の状況.....	20
第2部 ライフステージと自殺の状況.....	22
1. 各年代における職業別自殺者の状況.....	22
2. 各年代における原因・動機別自殺者の状況.....	24
3. 各職業における原因・動機別自殺者数の状況.....	26
(1) 学生・生徒等の自殺.....	26
(2) 主婦・主夫の自殺.....	27
(3) 無職者の自殺.....	28
(4) 有職者の自殺.....	30
第3部 各区における自殺の状況.....	32
資 料.....	34

本資料「札幌市の自殺の現状」について

本資料は、厚生労働省「人口動態統計」及び「地域における自殺の基礎資料(自殺日・住居地ベース)」並びにいのち支える自殺対策推進センター「地域自殺実態プロファイル」等のデータを元に作成しているが、以下のような集計方法の違いにより、自殺者数に差異が生じています。

■ 厚生労働省「人口動態統計」と警察庁「自殺統計」の違い

1 日本における外国人の取扱いの差異

「自殺統計」は、日本における日本人及び日本における外国人の自殺者数としているのに対し、「人口動態統計」は日本における日本人のみの自殺者数としています。

2 調査時点の差異

「自殺統計」は、捜査等により、自殺であると判明した時点で、自殺統計原票を作成し計上しているのに対し、「人口動態統計」は自殺、他殺あるいは事故死のいずれか不明のときは原因不明の死亡等で処理しており、後日原因が判明して死亡診断書等の作成者から自殺の旨訂正報告があった場合は、遡って自殺に計上しています。

3 計上地点の差異

「自殺統計」は、発見地に計上しているのに対して、「人口動態統計」は、住所地に計上している。

(「令和4年版自殺対策白書」より抜粋)

■ 厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」について

1 概要及び目的

地域における自殺の実態に基づいた対策が講じられるよう、厚生労働省自殺対策推進室において、警察庁から提供を受けた自殺データに基づいて、各年の全国・都道府県別・市区町村別自殺者数について再集計しました。

2 資料に用いられているデータについて

(1) 自殺者数について

ア 各年の自殺者について、「住居地」及び「発見地」の2通りでそれぞれ集計している。「住居地」とは、自殺者の住居があった場所、他方、「発見地」とは、自殺死体が発見された場所を意味しています。

イ 各年の自殺者について、「発見日」及び「自殺日」の2通りでそれぞれ集計している。「発見日」とは、自殺死体が発見された日を意味しています。「自殺日」とは、自殺をした日を意味しています。

ウ 自殺の原因・動機に係る集計については、遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を4つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と原因・動機特定者数とは一致しません。

(2) 自殺死亡率について

自殺者数を当該地方公共団体の人口で除し、これを10万人当たりの数値に換算したものです。各地方公共団体の人口は、「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」に基づき整理しています。

3 集計項目について

警察庁の自殺統計データにおける分類に基づき、以下のとおり区分している。

(1) 年代について

～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70～79歳、80歳～に区分しています。

(2) 職業について

【大分類】有職者、無職、不詳に区分しています。

【中分類】上記3区分のうち、無職は、学生・生徒等、無職者の2区分を内数とします。さらに、無職者は、主婦(主夫)、失業者、年金・雇用保険等生活

者、その他無職者を内数とします。

※「その他」は、「利子・配当・家賃等生活者」、「ホームレス」及び「その他の無職者」等を足し合わせたものです。

- (3) 原因・動機について
家庭問題、健康問題、経済・生活問題、勤務問題、交際問題、学校問題、その他、不詳に区分しています。
- (4) 場所について
自宅等、高層ビル、乗物、海(湖)・河川等、山、その他、不詳に区分しています。

■ 本書で使用している統計について

市民の自殺の実態について把握するため、本書で使用している統計のうち、厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」については、以下のデータを用いています。

- ・「自殺日」：自殺が実際に起こった日に焦点をあてるため
- ・「居住地」：市民の自殺の実態について把握するため

※ 本書では、全国・北海道・他政令指定都市の自殺者数についても「自殺日・住居地ベース」のデータを用いているため、各自治体が公表している自殺死亡率とは異なる場合があります。

第1部 札幌市の自殺の状況

札幌市の自殺の現状について、厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を中心とした各種関連資料を基に、他政令指定都市等との比較も踏まえながら見ていきます。

1. 死因順位別にみた年齢階級・死亡数・死亡率・構成割合

我が国において、39歳以下の死因順位では「自殺」が第1位です。この傾向は、札幌市においても同様であり、若年層の自殺は深刻な状況にあります。

なお、自殺者が急増する1998年(平成10年)の前年における死因順位では、「自殺」が第1位であったのは、30～34歳のみでした。

■ 全国における死因順位別にみた年齢階級・死亡数・死亡率(2022年)

(単位：人口10万人あたり)

年齢階級	第1位			第2位			第3位		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
10～14	自殺	119	2.3	悪性新生物	84	1.6	不慮の事故	34	1.6
15～19	自殺	663	12.2	不慮の事故	196	3.6	悪性新生物	124	2.3
20～24	自殺	1,243	21.3	不慮の事故	262	4.5	悪性新生物	144	2.5
25～29	自殺	1,154	19.4	悪性新生物	245	4.1	不慮の事故	211	3.6
30～34	自殺	1,115	18.4	悪性新生物	482	7.9	心疾患	211	3.5
35～39	自殺	1,350	19.5	悪性新生物	977	14.1	心疾患	386	5.6
40～44	悪性新生物	1,957	25.4	自殺	1,583	20.5	心疾患	747	9.7
45～49	悪性新生物	4,374	47.2	自殺	1,991	21.5	心疾患	1,680	18.1
50～54	悪性新生物	7,631	82.4	心疾患	2,840	30.7	自殺	2,162	23.4
55～59	悪性新生物	11,185	141	心疾患	3,777	47.6	脳血管疾患	2,066	26
60～64	悪性新生物	17,799	242.2	心疾患	5,502	74.9	脳血管疾患	2,835	38.6

資料：厚生労働省「人口動態統計」を基に作成

■ 札幌市における死因順位別にみた年齢階級・死亡数・死亡率(2022年)

(単位：人口10万人あたり)

年齢階級	第1位			第2位			第3位		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
10～14	自殺	4	5.2	不慮の事故	3	3.9	悪性新生物	1	1.3
15～19	自殺	11	13.8	不慮の事故	4	5.0	心疾患 先天奇形、変形 及び染色体異常	2	2.5
20～24	自殺	37	39.3	悪性新生物	4	4.3	心疾患 不慮の事故	2	2.1
25～29	自殺	23	23.4	悪性新生物	8	8.1	不慮の事故	4	4.1
30～34	自殺	21	20.2	悪性新生物	9	8.7	心疾患	4	3.9
35～39	自殺 悪性新生物	24	20.2	-	-	-	不慮の事故	9	7.6
40～44	悪性新生物	34	25.9	自殺	33	25.2	脳血管疾患	11	8.4
45～49	悪性新生物	75	49.0	自殺	35	22.9	心疾患	21	13.7
50～54	悪性新生物	130	86.7	自殺	36	24.0	心疾患 脳血管疾患	25	16.7
55～59	悪性新生物	192	146.9	心疾患	49	37.5	自殺	37	28.3
60～64	悪性新生物	325	263.9	心疾患	72	58.5	脳血管疾患	41	33.3

資料：厚生労働省「人口動態統計」住民基本台帳人口(令和4年10月1日現在)を基に作成

■ 札幌市における死因順位別にみた年齢階級・死亡数・死亡率(1997年)

(単位：人口10万人あたり)

年齢階級	第1位		第2位		第3位	
	死因	死亡数	死因	死亡数	死因	死亡数
10～14	不慮の事故	4	悪性新生物	2	先天奇形、変形及び染色体異常	1
15～19	不慮の事故	32	自殺	5	悪性新生物	3
20～24	不慮の事故	25	自殺	19	悪性新生物	7
25～29	不慮の事故	21	自殺	19	心疾患	5
30～34	自殺	18	不慮の事故	15	悪性新生物	13
35～39	悪性新生物	23	自殺	21	不慮の事故	14
40～44	悪性新生物	69	自殺	24	肝疾患	13
45～49	悪性新生物	136	脳血管疾患	48	不慮の事故	34
50～54	悪性新生物	194	自殺	48	心疾患	46
55～59	悪性新生物	276	心疾患	64	脳血管疾患	52
60～64	悪性新生物	371	心疾患	98	脳血管疾患	78

資料：札幌市衛生年報 平成10年(平成9年統計)を基に作成

2. 自殺者数及び自殺死亡率の状況

厚生労働省「人口動態統計」及び「地域における自殺の基礎資料」では、自殺者数や公表時期など、異なる点があるため順に見ていきます。

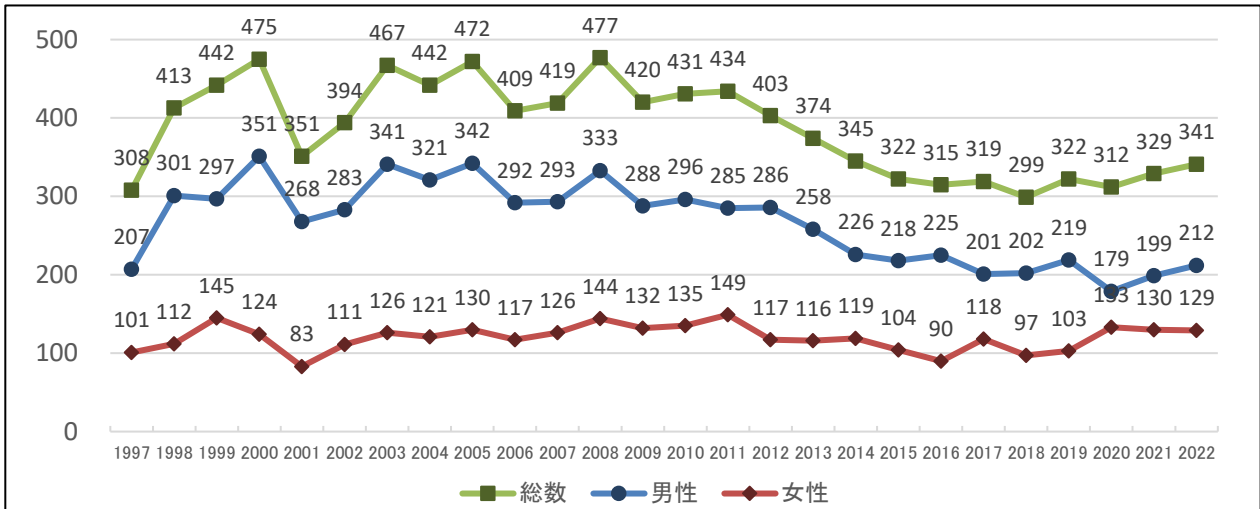
※統計の異なる点の詳細については、P.1「本資料「札幌市の自殺の現状」について」を参照してください。

(1) 厚生労働省「人口動態統計」

札幌市では、1997年(平成9年)まで自殺者数は約200~300人で推移していましたが、1998年(平成10年)に急増し、ピーク時の2008年(平成20年)には477人となりました。その後、2012年(平成24年)からは減少に転じていましたが、最近5年は横ばいとなっています。なお、1998年(平成10年)の急増は、全国と同様の傾向です。

■ 自殺者数の推移

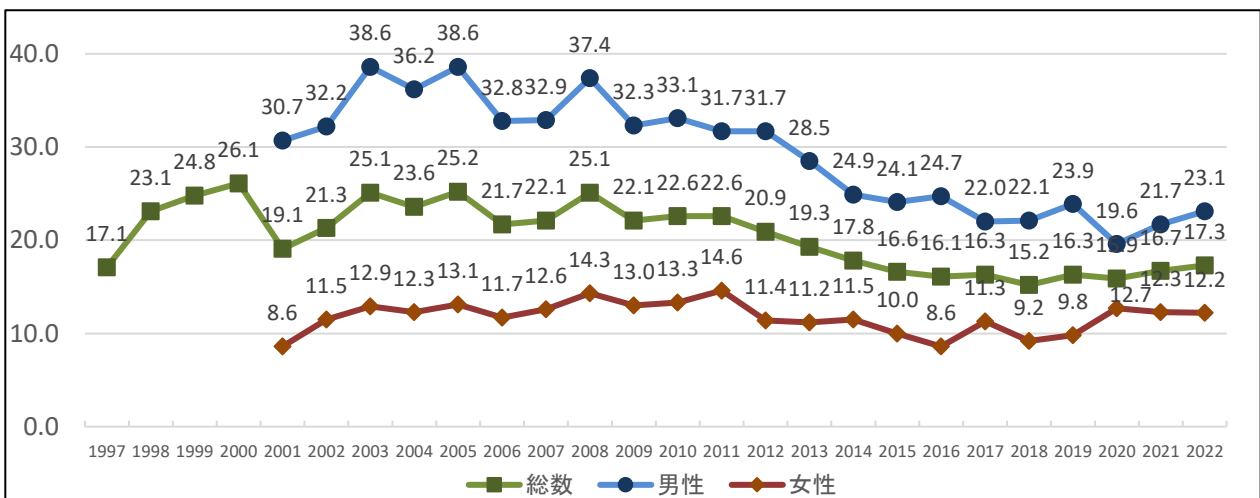
(単位:人)



資料：厚生労働省「人口動態統計」を基に作成

■ 自殺死亡率の推移

(単位:人口10万人あたり)



資料：厚生労働省「人口動態統計」及び札幌市衛生年報を基に作成
※1997~2000の男女別自殺死亡率は非公表

(2) 厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

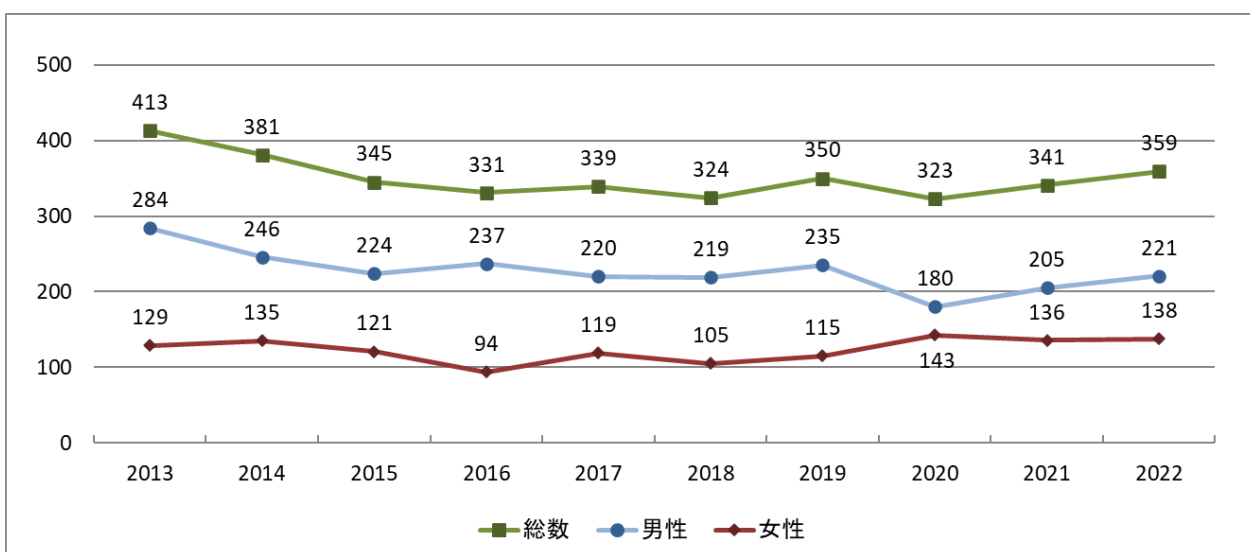
札幌市の自殺者数は、2012年(平成24年)からは減少に転じていましたが、最近5年は横ばいとなっており、現在は300人台で推移しています。

また、他の政令指定都市と直近5年間の数値を比較すると、札幌市の自殺者数及び自殺死亡率はともに4番目です。自殺死亡率は、北海道(札幌市を含む)より0.7ポイント低くなっていますが、全国より0.9ポイント高くなっています。

※ ここで示す全国及び政令指定都市のデータは、札幌市の集計に合わせて「自殺日・住居地ベース」であり、各自治体が公表している自殺死亡率とは異なる場合があります。

■ 自殺者数の推移(2013～2022年)

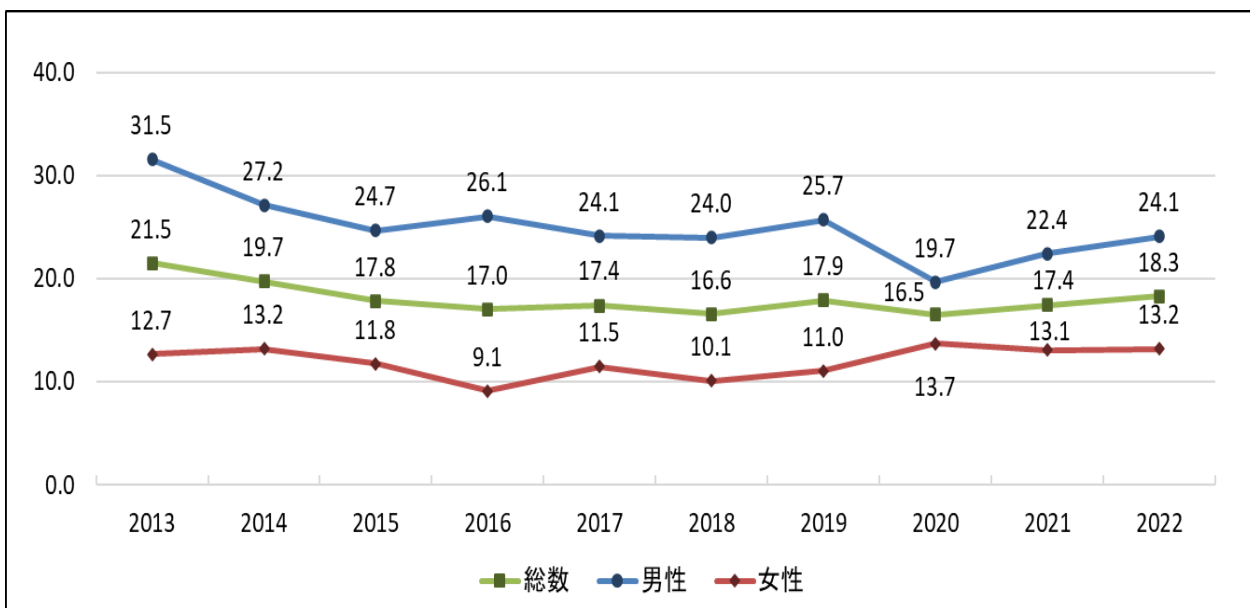
(単位：人)



資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 自殺死亡率の推移(2013～2022年)

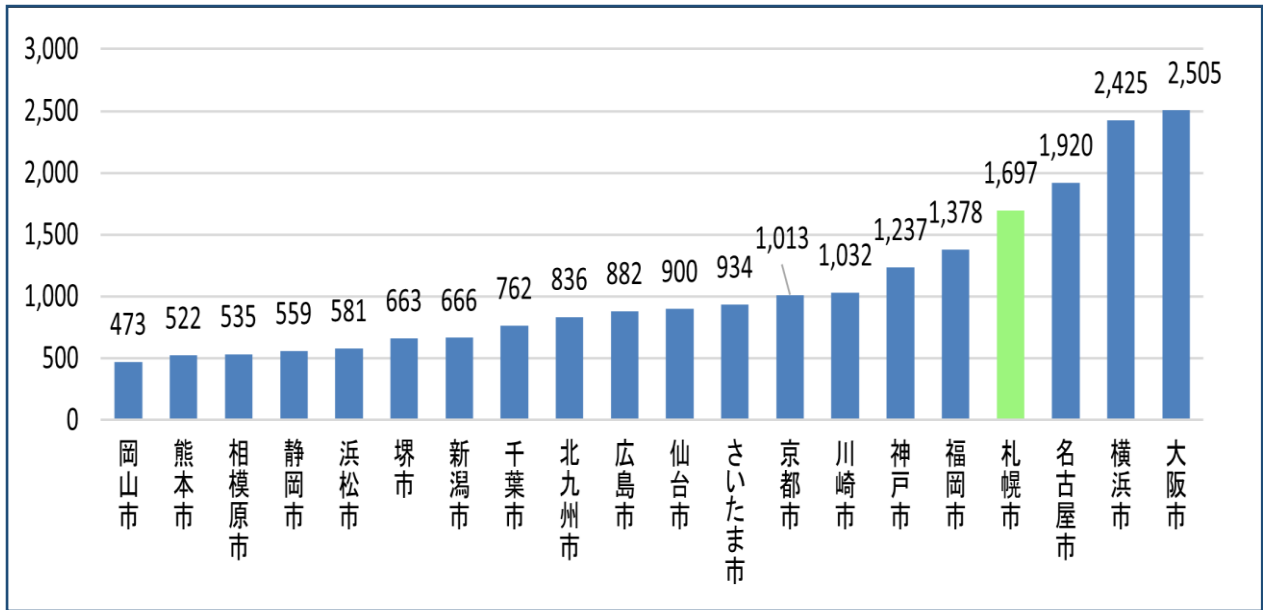
(単位：人口10万人あたり)



資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」及び総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」を基に作成

■ 各政令指定都市の自殺者数(直近5年間(2018~2022年)合計)

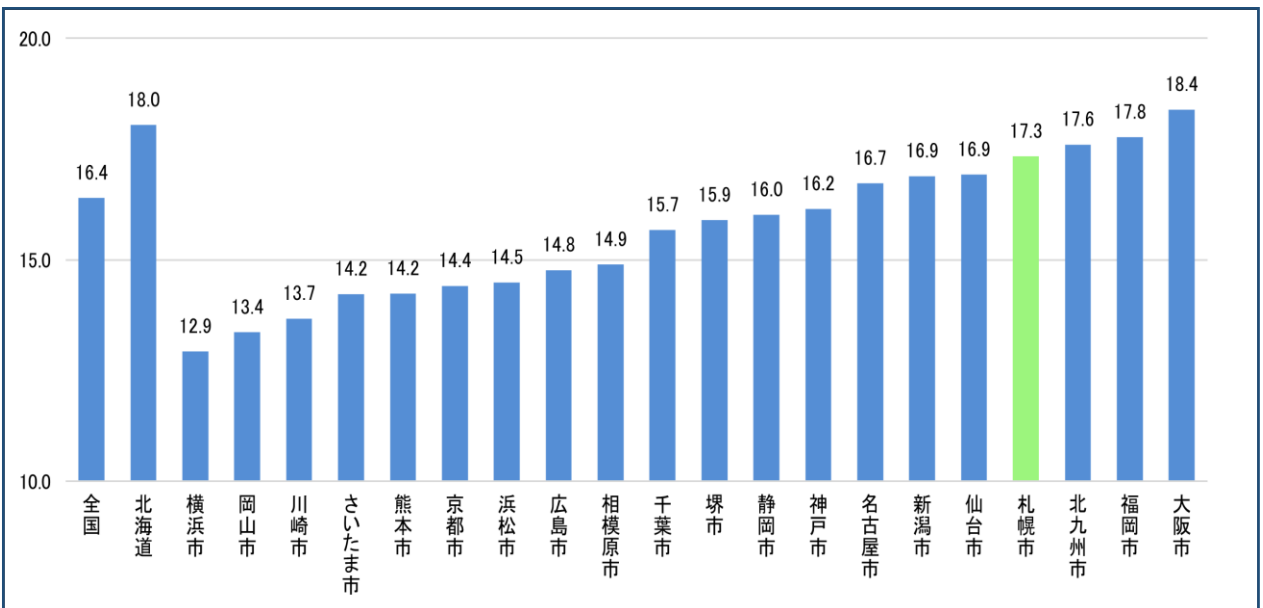
(単位:人)



資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 各政令指定都市及び北海道・全国の自殺死亡率(直近5年間(2018~2022年)平均)

(単位:人口10万人あたり)



資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」及び総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」を基に作成

3. 年代別自殺者の状況

(1) 自殺者数

年代別の自殺者数では、40～59歳が最も多く、29歳以下は増加傾向、60～69歳は減少傾向にあり、それ以外の年代では増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移しています。

男女別で自殺者が多い年代を見ると、男性では40～59歳であり、女性ではその年ごとにばらつきがあります。

年代ごとに他の政令指定都市と直近5年間の数値を比較すると、札幌市の自殺者数は30～39歳では3番目、29歳以下及び40～69歳では4番目、70歳以上では5番目に多くなっています。

■ 年代別自殺者数(総数)

(単位：人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
2018	8	44	45	66	69	43	26	23	324
2019	12	42	63	67	62	42	40	22	350
2020	13	41	46	52	60	38	42	31	323
2021	13	53	51	62	54	39	41	28	341
2022	15	62	46	75	76	28	32	25	359

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 年代別自殺者数(男性)

(単位：人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
2018	6	34	32	46	48	28	16	9	219
2019	9	29	44	48	48	26	18	13	235
2020	9	25	30	35	26	14	21	20	180
2021	8	29	34	42	32	21	20	19	205
2022	3	38	35	43	52	17	18	15	221

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 年代別自殺者数(女性)

(単位：人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
2018	2	10	13	20	21	15	10	14	105
2019	3	13	19	19	14	16	22	9	115
2020	4	16	16	17	34	24	21	11	143
2021	5	24	17	20	22	18	21	9	136
2022	12	24	11	32	24	11	14	10	138

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 各政令指定都市の年代別自殺者数(直近5年間(2018~2022年)合計)

(単位：人)

順位	～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳	
	自治体名	自殺者数	自治体名	自殺者数	自治体名	自殺者数	自治体名	自殺者数
1	大阪市	82	大阪市	317	横浜市	335	横浜市	424
2	横浜市	74	横浜市	310	大阪市	313	大阪市	423
3	名古屋市	74	名古屋市	282	札幌市	251	名古屋市	332
4	札幌市	61	札幌市	242	名古屋市	232	札幌市	322
5	福岡市	52	福岡市	203	福岡市	223	福岡市	248
6	さいたま市	48	仙台市	162	川崎市	164	神戸市	205
7	神戸市	44	川崎市	157	仙台市	139	川崎市	194
8	広島市	40	神戸市	143	神戸市	135	京都市	174
9	川崎市	37	京都市	143	さいたま市	133	広島市	165
10	千葉市	35	さいたま市	108	広島市	114	仙台市	165
11	京都市	32	広島市	104	京都市	109	さいたま市	153
12	仙台市	31	千葉市	99	北九州市	99	北九州市	147
13	北九州市	29	北九州市	92	千葉市	89	千葉市	146
14	岡山市	27	新潟市	71	浜松市	85	堺市	117
15	浜松市	23	相模原市	69	新潟市	80	浜松市	110
16	静岡市	23	岡山市	68	堺市	76	熊本市	94
17	堺市	23	堺市	66	熊本市	71	新潟市	93
18	熊本市	22	静岡市	62	相模原市	70	相模原市	92
19	新潟市	20	浜松市	58	岡山市	64	岡山市	90
20	相模原市	17	熊本市	51	静岡市	56	静岡市	88
順位	50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～	
	自治体名	自殺者数	自治体名	自殺者数	自治体名	自殺者数	自治体名	自殺者数
1	横浜市	471	大阪市	328	大阪市	379	大阪市	229
2	大阪市	434	横浜市	309	横浜市	312	名古屋市	204
3	名古屋市	330	名古屋市	227	名古屋市	237	横浜市	190
4	札幌市	321	札幌市	190	神戸市	191	神戸市	145
5	福岡市	241	福岡市	182	札幌市	181	札幌市	129
6	神戸市	208	神戸市	166	京都市	165	北九州市	104
7	川崎市	188	京都市	122	福岡市	136	京都市	103
8	さいたま市	180	川崎市	121	広島市	127	広島市	94
9	京都市	164	さいたま市	115	北九州市	123	福岡市	93
10	仙台市	149	仙台市	103	堺市	115	さいたま市	86
11	広島市	146	新潟市	102	千葉市	112	新潟市	79
12	北九州市	144	北九州市	98	さいたま市	111	堺市	71
13	千葉市	127	広島市	92	新潟市	109	川崎市	66
14	堺市	114	千葉市	92	川崎市	105	仙台市	63
15	静岡市	113	熊本市	86	静岡市	88	千葉市	62
16	新潟市	112	堺市	81	仙台市	88	静岡市	58
17	相模原市	112	浜松市	79	相模原市	81	浜松市	53
18	熊本市	99	静岡市	70	浜松市	78	熊本市	49
19	浜松市	95	岡山市	67	岡山市	51	岡山市	39
20	岡山市	67	相模原市	60	熊本市	49	相模原市	34

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

(2) 自殺死亡率

年代別の自殺死亡率では、29歳以下が増加傾向にあり、それ以外の年代ではほぼ横ばいとなっています。

男女別では、男性は20～59歳及び80歳以上、女性は20～29歳が比較的高い傾向にあります。

年代ごとに他の政令指定都市と直近5年間の数値を比較すると、札幌市の自殺死亡率は、30～39歳が1番目、20～29歳及び40～49歳が2番目、19歳以下が5番目と、若者の自殺死亡率が非常に高い状況にあります。また、全国平均と比較しても、59歳以下の自殺死亡率が高い状況にあります。

■ 年代別自殺死亡率(総数)

(単位：人口10万人あたり)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	全体
2018	2.6	21.8	18.1	21.8	26.9	15.2	12.6	15.6	16.6
2019	4.0	21.0	25.9	22.2	23.7	15.3	18.3	14.4	17.9
2020	4.3	20.6	19.4	17.3	22.6	14.4	17.9	19.7	16.5
2021	4.3	26.7	21.9	20.9	19.9	15.2	16.8	17.1	17.4
2022	5.1	31.4	20.1	25.7	27.4	11.1	12.9	14.7	18.3

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」及び総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」を基に作成

■ 年代別自殺死亡率(男性)

(単位：人口10万人あたり)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	全体
2018	3.9	35.0	26.5	31.5	39.7	21.2	17.8	17.9	24.0
2019	5.8	30.2	37.2	32.9	39.0	20.3	18.8	25.0	25.7
2020	5.9	26.0	26.1	24.1	20.7	11.3	20.5	37.4	19.7
2021	5.3	30.2	30.0	29.2	25.0	17.4	18.7	34.0	22.4
2022	2.0	39.6	31.4	30.5	39.6	14.4	16.4	25.8	24.1

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」及び総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」を基に作成

■ 年代別自殺死亡率(女性)

(単位：人口10万人あたり)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	全体
2018	1.3	9.5	10.1	12.8	15.5	10.0	8.6	14.4	10.1
2019	2.0	12.5	15.1	12.2	10.1	11.0	17.9	8.9	11.0
2020	2.7	15.5	13.1	11.0	24.2	17.2	16.0	10.6	13.7
2021	3.4	23.5	14.2	13.0	15.4	13.3	15.4	8.3	13.0
2022	8.3	23.7	9.3	21.3	16.5	8.3	10.1	8.9	13.2

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」及び総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」を基に作成

■ 各政令指定都市及び北海道・全国の年代別自殺死亡率(直近5年間(2018～2022年)平均) (単位：人口10万人あたり)

順位	～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳	
	自治体名	自殺死亡率	自治体名	自殺死亡率	自治体名	自殺死亡率	自治体名	自殺死亡率
1	千葉市	4.3	仙台市	26.4	札幌市	21.0	北九州市	22.5
2	岡山市	4.2	札幌市	24.3	福岡市	20.4	札幌市	21.5
3	静岡市	4.1	名古屋市	21.0	仙台市	19.7	福岡市	20.4
4	さいたま市	4.1	福岡市	20.5	北九州市	19.4	大阪市	20.3
5	札幌市	4.1	北九州市	19.9	浜松市	18.3	仙台市	19.8
6	大阪市	4.0	新潟市	19.4	新潟市	17.9	名古屋市	18.9
7	名古屋市	3.9	千葉市	19.2	大阪市	16.9	浜松市	18.9
8	福岡市	3.7	静岡市	18.6	堺市	16.7	千葉市	18.7
9	広島市	3.6	神戸市	18.5	相模原市	16.5	熊本市	18.2
10	北九州市	3.6	大阪市	18.5	熊本市	16.3	堺市	18.0
11	神戸市	3.5	京都市	17.8	広島市	16.0	神戸市	18.0
12	仙台市	3.4	相模原市	17.7	千葉市	15.9	広島市	17.6
13	浜松市	3.2	岡山市	17.6	神戸市	15.7	静岡市	17.6
14	熊本市	3.2	広島市	16.6	さいたま市	15.7	岡山市	17.0
15	堺市	3.1	川崎市	16.2	名古屋市	15.7	京都市	16.7
16	新潟市	3.1	堺市	15.9	岡山市	15.2	新潟市	16.1
17	川崎市	2.9	横浜市	15.3	静岡市	14.9	相模原市	16.1
18	京都市	2.9	浜松市	15.0	横浜市	14.8	川崎市	15.3
19	相模原市	2.9	さいたま市	14.6	川崎市	14.7	さいたま市	14.5
20	横浜市	2.4	熊本市	13.6	京都市	13.5	横浜市	14.1
	北海道	3.9	北海道	23.9	北海道	21.3	北海道	20.2
	全国	3.3	全国	18.4	全国	17.3	全国	18.8
順位	50～59歳		60～69歳		70～79歳		80歳～	
	自治体名	自殺死亡率	自治体名	自殺死亡率	自治体名	自殺死亡率	自治体名	自殺死亡率
1	福岡市	24.9	大阪市	21.9	大阪市	24.5	名古屋市	22.4
2	北九州市	24.7	福岡市	21.0	新潟市	22.3	北九州市	21.4
3	静岡市	24.4	新潟市	19.0	堺市	20.6	神戸市	21.0
4	大阪市	24.2	熊本市	18.2	神戸市	19.9	広島市	20.8
5	札幌市	24.1	名古屋市	17.7	北九州市	19.5	新潟市	20.7
6	相模原市	22.3	神戸市	17.3	静岡市	18.8	大阪市	20.7
7	新潟市	22.1	堺市	16.9	千葉市	18.6	堺市	20.3
8	仙台市	21.6	千葉市	16.7	福岡市	18.6	さいたま市	19.1
9	名古屋市	21.5	川崎市	16.3	名古屋市	18.4	福岡市	18.2
10	熊本市	21.3	さいたま市	16.2	京都市	18.4	静岡市	16.8
11	堺市	21.3	岡山市	16.1	相模原市	18.4	千葉市	16.8
12	神戸市	20.4	仙台市	16.1	広島市	18.3	仙台市	16.1
13	さいたま市	19.9	浜松市	15.5	浜松市	16.3	京都市	15.8
14	広島市	19.0	北九州市	15.4	仙台市	15.9	札幌市	15.8
15	千葉市	18.8	静岡市	15.4	さいたま市	15.8	熊本市	15.3
16	浜松市	18.3	京都市	14.9	札幌市	15.7	浜松市	14.5
17	川崎市	18.0	横浜市	14.7	川崎市	15.5	川崎市	14.3
18	京都市	17.8	札幌市	14.3	横浜市	14.9	横浜市	13.2
19	横浜市	17.3	相模原市	14.3	岡山市	12.4	相模原市	13.1
20	岡山市	15.4	広島市	13.2	熊本市	12.3	岡山市	12.9
	北海道	20.2	北海道	25.8	北海道	15.2	北海道	18.7
	全国	18.8	全国	21.8	全国	17.4	全国	19.0

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」及び総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」を基に作成
 ※順位は、小数点第2位以下で判断した。

4. 職業別自殺者の状況

(1) 自殺者数

職業別の自殺者数は、「有職者」が最も多い状況です。

男女別では、男性は「有職者」、女性は「年金・雇用保険等生活者」「その他無職者」が多くなっています。

北海道・全国と直近5年間の職業別割合を比較すると、札幌市は「年金・雇用保険等生活者」の割合がやや低く、「失業者」「その他無職者」の割合がやや高くなっています。

※2022年統計より、集計項目が有職者（＝自営業・家族従業者＋被雇用・勤め人）となりました。

■ 職業別自殺者数(総数)

(単位：人)

	自営業・ 家族従業者	被雇用者 ・勤め人	学生・ 生徒等	主婦	失業者	年金・雇用保 険等生活者	その他の 無職者	不詳	合計
2018	14	121	17	14	21	56	75	6	324
2019	15	111	16	15	24	70	92	7	350
2020	14	103	13	22	6	71	93	1	323
2021	17	106	19	19	13	81	78	8	341
	有職者		学生・ 生徒等	主婦	失業者	年金・雇用保 険等生活者	その他の 無職者	不詳	合計
2022	144		21	18	17	102	56	1	359

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 職業別自殺者数(男性)

(単位：人)

	自営業・ 家族従業者	被雇用者 ・勤め人	学生・ 生徒等	主婦	失業者	年金・雇用保 険等生活者	その他の 無職者	不詳	合計
2018	14	96	15	0	17	30	41	6	219
2019	15	94	11	0	20	34	55	6	235
2020	13	70	11	0	3	35	47	1	180
2021	16	66	14	0	12	40	49	8	205
	有職者		学生・ 生徒等	主婦	失業者	年金・雇用保 険等生活者	その他の 無職者	不詳	合計
2022	110		8	0	16	47	40	0	221

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

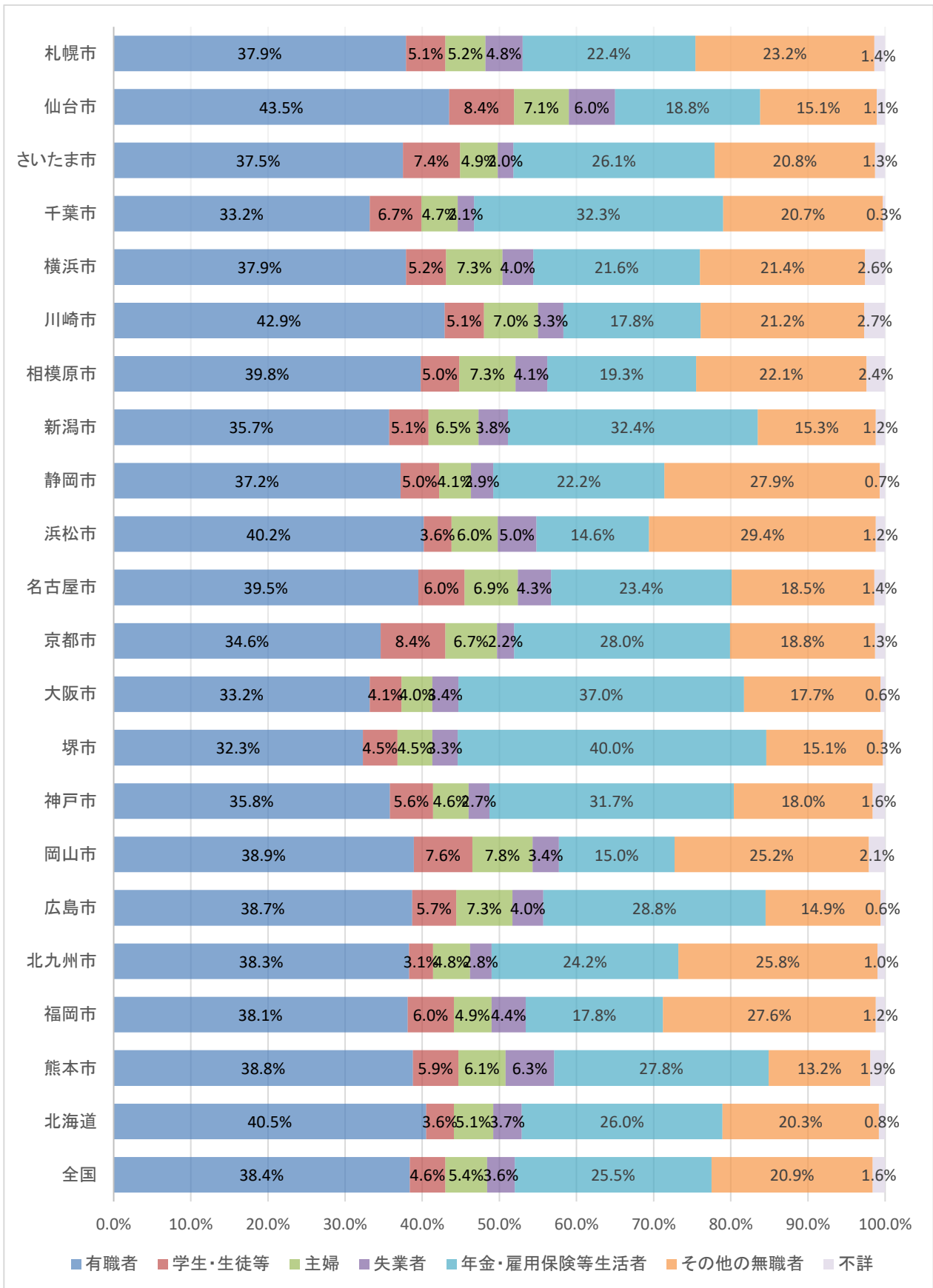
■ 職業別自殺者数(女性)

(単位：人)

	自営業・ 家族従業者	被雇用者 ・勤め人	学生・ 生徒等	主婦	失業者	年金・雇用保 険等生活者	その他の 無職者	不詳	合計
2018	0	25	2	14	4	26	34	0	105
2019	0	17	5	15	4	36	37	1	115
2020	1	33	2	22	3	36	46	0	143
2021	1	40	5	19	1	41	29	0	136
	有職者		学生・ 生徒等	主婦	失業者	年金・雇用保 険等生活者	その他の 無職者	不詳	合計
2022	34		13	18	1	55	16	1	138

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 各政令指定都市及び北海道・全国の職業別自殺者の割合(直近5年間(2018～2022年)合計)



資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

5. 原因・動機別自殺者の状況

自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きているものの、札幌市における自殺の原因・動機の上位は「健康問題」「経済・生活問題」「家庭問題」であり、2009年(平成21年)以降変わっていません。

男女別で見ると、男性は「健康問題」や「経済・生活問題」、女性は「健康問題」が自殺の原因・動機の上位となっています。

なお、2022年(令和4年)統計より、集計項目及び計上基準、計上可能数が変更されています。

変更点	集計項目	計上基準	計上可能数
2021年まで (令和3年)	男女問題	遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかなもの	3つ
2022年まで (令和4年)	交際問題	遺書等に加え家族の証言等から考えられるもの	4つ

■ 原因・動機別件数(総数)

(単位：件)

年	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他
2018	52	124	74	39	19	6	18
2019	53	122	69	44	16	5	23
2020	56	122	48	33	22	8	18
2021	56	117	63	27	21	4	21
2022	79	150	72	54	25	15	33

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成
※複数計上あり、不詳を除く。

■ 原因・動機別件数(男性)

(単位：件)

年	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他
2018	38	63	63	35	13	5	11
2019	29	59	65	38	8	5	12
2020	26	57	35	26	12	8	6
2021	31	53	56	21	10	2	15
2022	41	67	62	50	12	10	16

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成
※複数計上あり、不詳を除く。

■ 原因・動機別件数(女性)

(単位：件)

年	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他
2018	14	61	11	4	6	1	7
2019	24	63	4	6	8	0	11
2020	30	65	13	7	10	0	12
2021	25	64	7	6	11	2	6
2022	38	83	10	4	13	5	17

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成
※複数計上あり、不詳を除く。

■ 各政令指定都市及び北海道・全国の原因・動機別自殺者の割合(直近5年間(2018～2022年)合計)

	家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他
札幌市	25.1%	53.9%	27.7%	16.7%	8.7%	3.2%	9.6%
仙台市	27.9%	63.2%	30.5%	21.4%	7.5%	5.0%	9.2%
さいたま市	8.7%	64.8%	11.6%	6.8%	2.8%	3.0%	4.1%
千葉市	24.6%	68.5%	22.4%	9.8%	3.6%	4.3%	7.9%
横浜市	24.4%	65.3%	24.3%	17.1%	4.8%	3.6%	10.3%
川崎市	22.1%	58.4%	22.3%	19.2%	6.0%	3.2%	11.2%
相模原市	27.1%	64.5%	25.3%	14.8%	4.8%	3.0%	12.3%
新潟市	31.5%	64.8%	16.7%	13.6%	7.3%	2.7%	10.3%
静岡市	23.6%	59.9%	26.4%	13.1%	4.3%	2.3%	10.2%
浜松市	24.9%	67.6%	25.7%	12.0%	3.4%	3.6%	9.1%
名古屋市	19.0%	65.1%	20.6%	16.9%	5.0%	3.9%	7.2%
京都市	24.3%	66.0%	22.4%	15.5%	5.4%	4.9%	8.4%
大阪市	20.0%	77.1%	26.4%	10.6%	6.9%	2.2%	7.0%
堺市	25.2%	79.4%	20.1%	11.7%	5.5%	2.5%	6.2%
神戸市	18.1%	75.8%	17.6%	12.7%	3.9%	2.3%	4.4%
岡山市	28.8%	55.9%	24.6%	13.5%	8.2%	2.1%	6.4%
広島市	23.7%	72.1%	26.8%	11.1%	6.3%	3.2%	7.7%
北九州市	21.5%	60.1%	27.5%	13.7%	5.2%	2.0%	7.8%
福岡市	22.3%	57.5%	28.7%	13.3%	8.6%	3.7%	8.7%
熊本市	20.8%	66.2%	28.5%	12.1%	7.7%	2.6%	7.4%
北海道	25.8%	54.9%	27.5%	18.7%	7.9%	2.2%	9.8%
全国	21.6%	66.6%	22.6%	13.5%	4.8%	2.6%	8.0%

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成
 ※数値は、各原因・動機の件数を自殺者数(原因・動機「不詳」の者を除く)で除した値。
 ※原因・動機は複数計上であるため、各自治体の合計は100%にならない。

6. 同居人の有無別自殺者の状況

同居人のいる自殺者は全体の5割超、同居人のいない自殺者は4割超であり、直近5年間は同様の傾向です。

他の政令指定都市や北海道・全国と直近5年間の割合を比較すると、札幌市では同居人のいない自殺者の割合が高い状況です。

■ 同居人の有無別自殺者数(総数)

(単位：人)

	同居人あり	同居人なし	不詳	合計
2018	187	133	4	324
2019	181	167	2	350
2020	196	127	0	323
2021	177	163	1	341
2022	209	150	0	359

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 同居人の有無別自殺者数(男性)

(単位：人)

	同居人あり	同居人なし	不詳	合計
2018	127	89	3	219
2019	124	109	2	235
2020	104	76	0	180
2021	101	103	1	205
2022	124	97	0	221

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

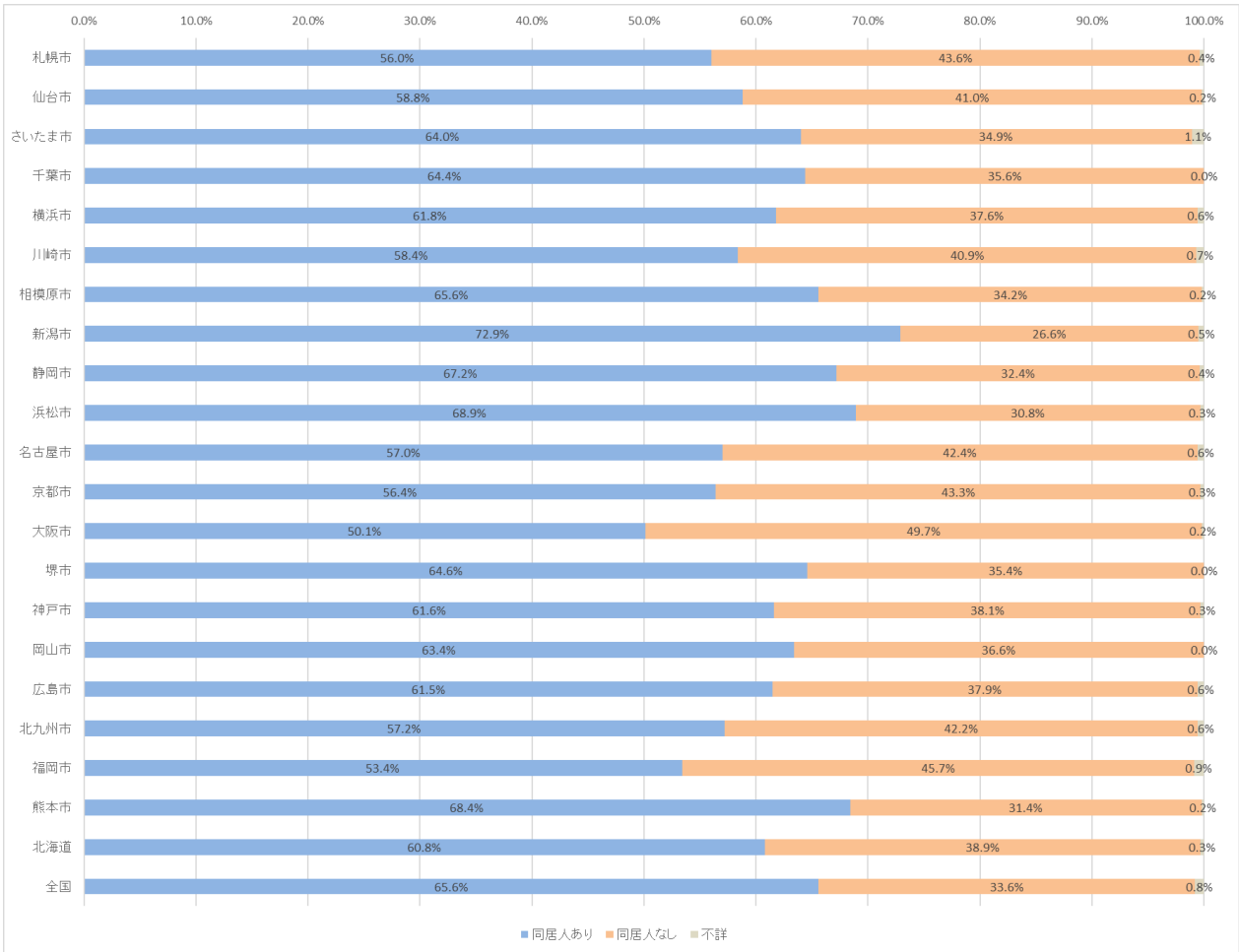
■ 同居人の有無別自殺者数(女性)

(単位：人)

	同居人あり	同居人なし	不詳	合計
2018	60	44	1	105
2019	57	58	0	115
2020	92	51	0	143
2021	76	60	0	136
2022	85	53	0	138

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 各政令指定都市及び北海道・全国の同居人の有無別自殺者の割合(直近5年間(2018～2022年)合計)



資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

7. 自殺未遂歴の有無別自殺者の状況

直近5年間の自殺未遂歴の有無別割合は、全体の約25%を占めています。

直近5年間の自殺未遂歴の有無別割合を男女別で見ると、男性では約19%、女性では約35%となっています。

他の政令指定都市や北海道・全国と直近5年間の自殺未遂歴の有無別割合を比較すると、札幌市では自殺未遂歴のある者の割合が高い傾向にあります。

なお、市内における自損行為者の救急搬送数は直近5年間で4,843件です。そのうち女性の救急搬送数は3,447件で男性の救急搬送数1,396件の約2.5倍であり、女性の自損行為が多いことがうかがえます。

■ 自殺未遂歴の有無別自殺者数(総数)

(単位：人)

	自殺未遂歴あり	自殺未遂歴なし	不詳	合計
2018	74	179	71	324
2019	72	192	86	350
2020	97	160	66	323
2021	90	185	66	341
2022	90	228	41	359

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 自殺未遂歴の有無別自殺者数(男性)

(単位：人)

	自殺未遂歴あり	自殺未遂歴なし	不詳	合計
2018	39	132	48	219
2019	37	138	60	235
2020	43	97	40	180
2021	39	120	46	205
2022	40	159	22	221

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

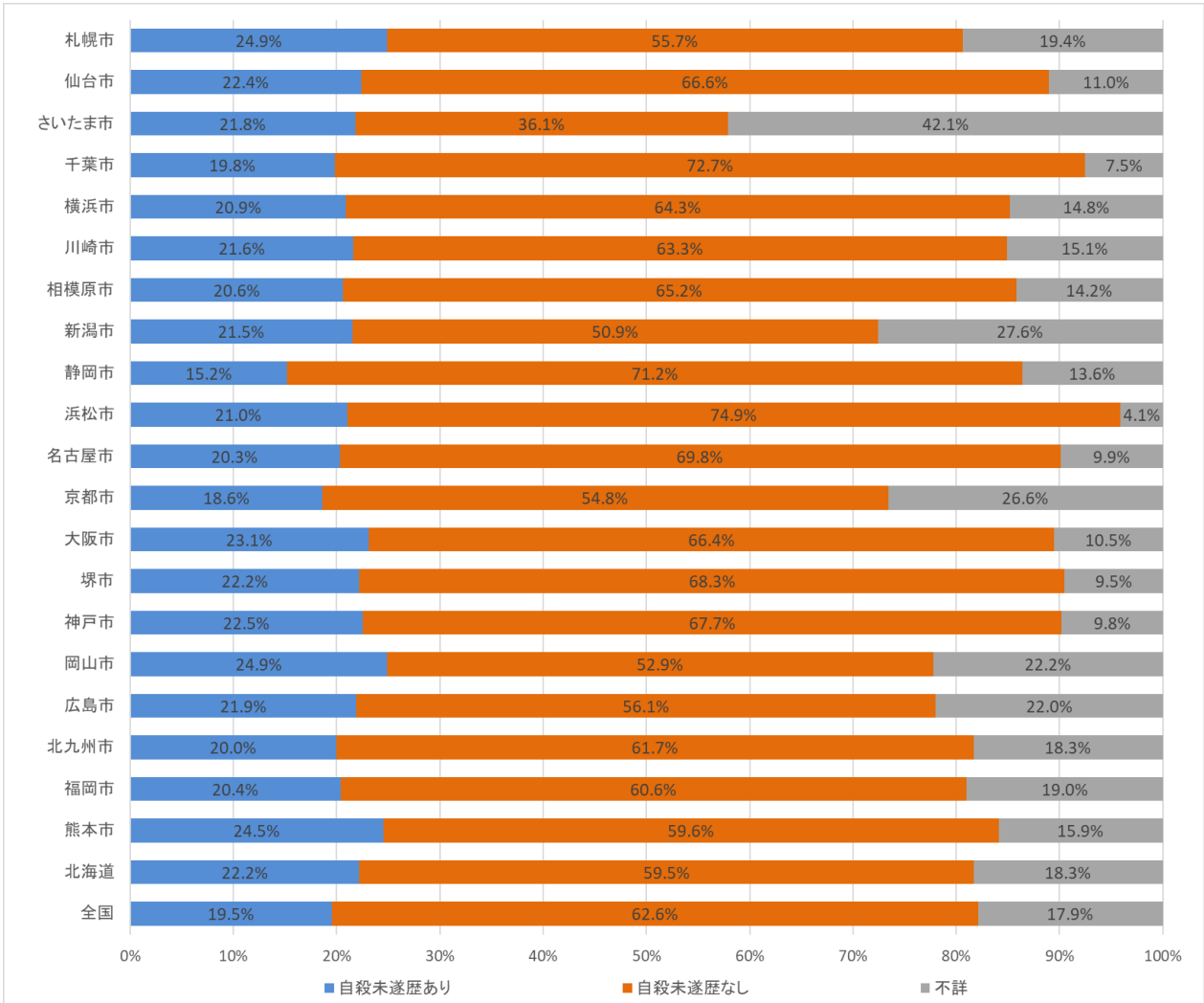
■ 自殺未遂歴の有無別自殺者数(女性)

(単位：人)

	自殺未遂歴あり	自殺未遂歴なし	不詳	合計
2018	35	47	23	105
2019	35	54	26	115
2020	54	63	26	143
2021	51	65	20	136
2022	50	69	19	138

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

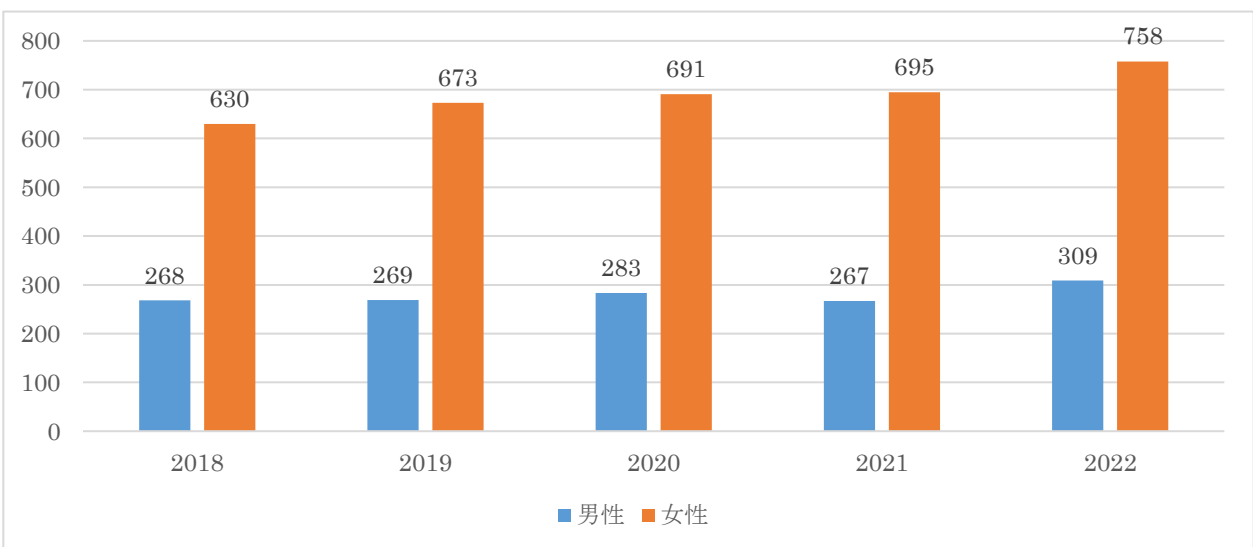
■ 各政令指定都市及び北海道・全国の自殺未遂歴の有無別自殺者の割合(直近5年間(2018~2022年)合計)



資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

【参考】 自損行為による救急搬送状況

(単位：人)



資料：札幌市「消防年報」を基に作成

8. 場所別自殺者の状況

自殺の半数以上は「自宅等」で起きており、次いで「高層ビル」「乗物」が多い状況です。

男女別にみると、男性は「自宅等」に次いで「高層ビル」もしくは「乗物」、「海（湖）・河川等」が多く、女性は「自宅等」に次いで「高層ビル」もしくは「海（湖）・河川等」が多くなっています。

■ 場所別自殺者数(総数)

(単位：人)

	自宅等	高層ビル	乗物	海(湖)・河川等	山	その他	合計
2018	184	30	21	15	6	68	324
2019	184	32	28	23	10	73	350
2020	192	33	21	7	3	67	323
2021	198	34	13	16	11	69	341
2022	225	16	40	18	4	56	359

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 場所別自殺者数(男性)

(単位：人)

	自宅等	高層ビル	乗物	海(湖)・河川等	山	その他	合計
2018	116	19	18	12	6	48	219
2019	119	18	22	13	9	54	235
2020	94	15	19	4	3	45	180
2021	106	16	11	11	10	51	205
2022	126	7	34	12	3	39	221

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

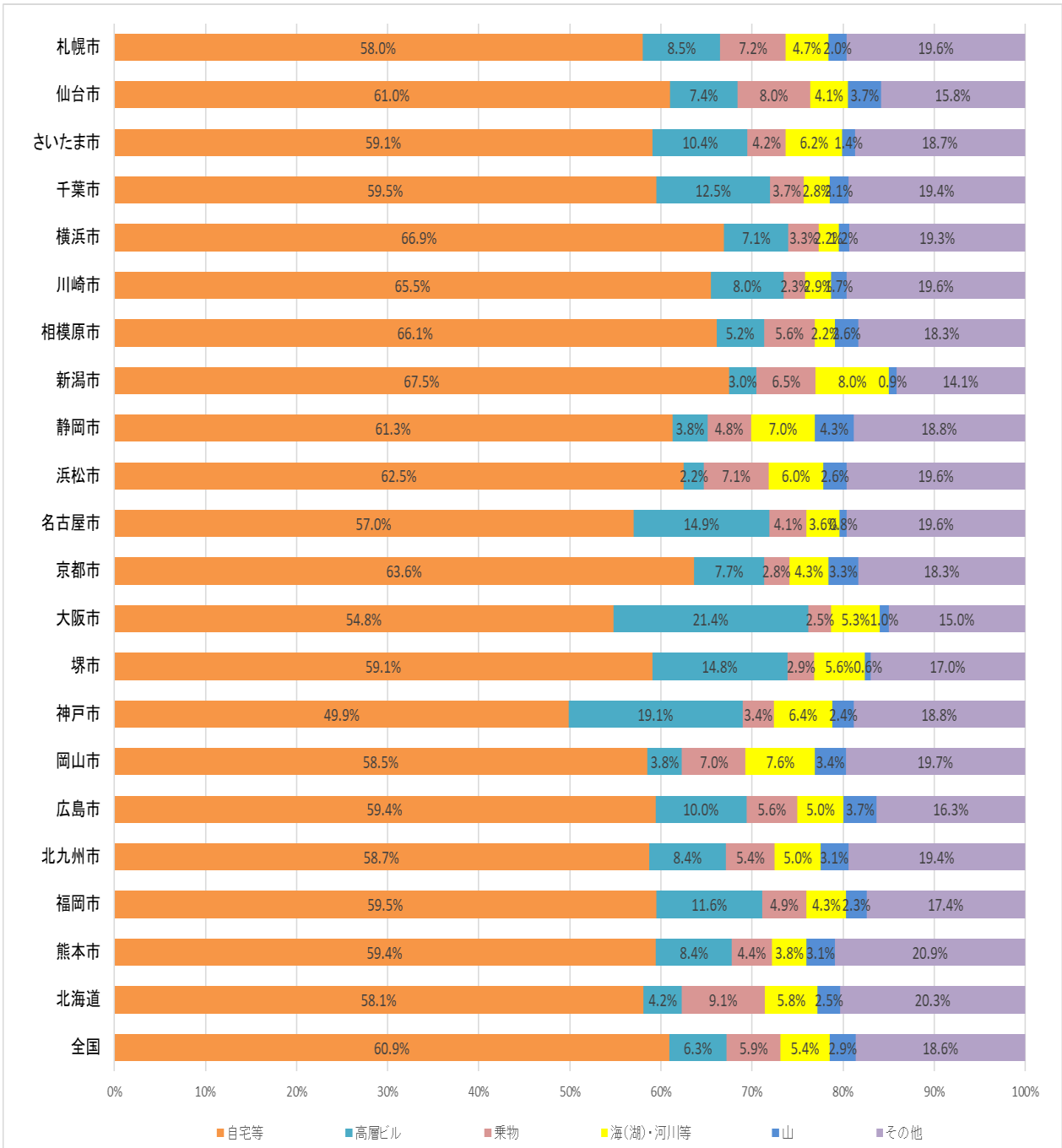
■ 場所別自殺者数(女性)

(単位：人)

	自宅等	高層ビル	乗物	海(湖)・河川等	山	その他	合計
2018	68	11	3	3	0	20	105
2019	65	14	6	10	1	19	115
2020	98	18	2	3	0	22	143
2021	92	18	2	5	1	18	136
2022	99	9	6	6	1	17	138

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 各政令指定都市及び北海道・全国の場所別自殺者の割合(直近5年間(2018～2022年)合計)



資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

第2部 ライフステージと自殺の状況

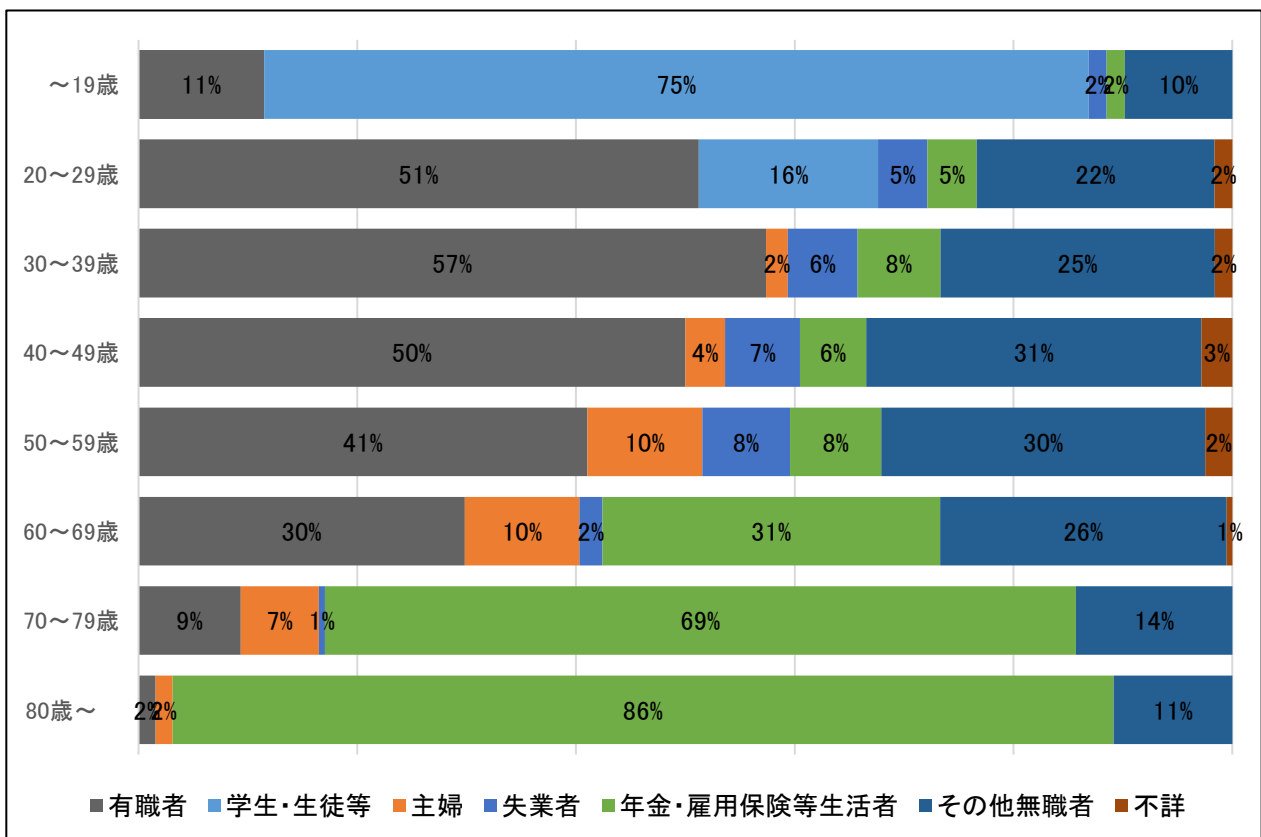
第1部では、各種関連資料を基に自殺の現状を見てきましたが、自殺の背景は置かれている状況によって様々であるため、ライフステージごとに自殺の状況を見ていきます。

1. 各年代における職業別自殺者の状況

19歳以下は「学生・生徒等」、20～59歳は「有職者」、60歳以上は「年金・雇用保険等生活者」が最も多くなっています。

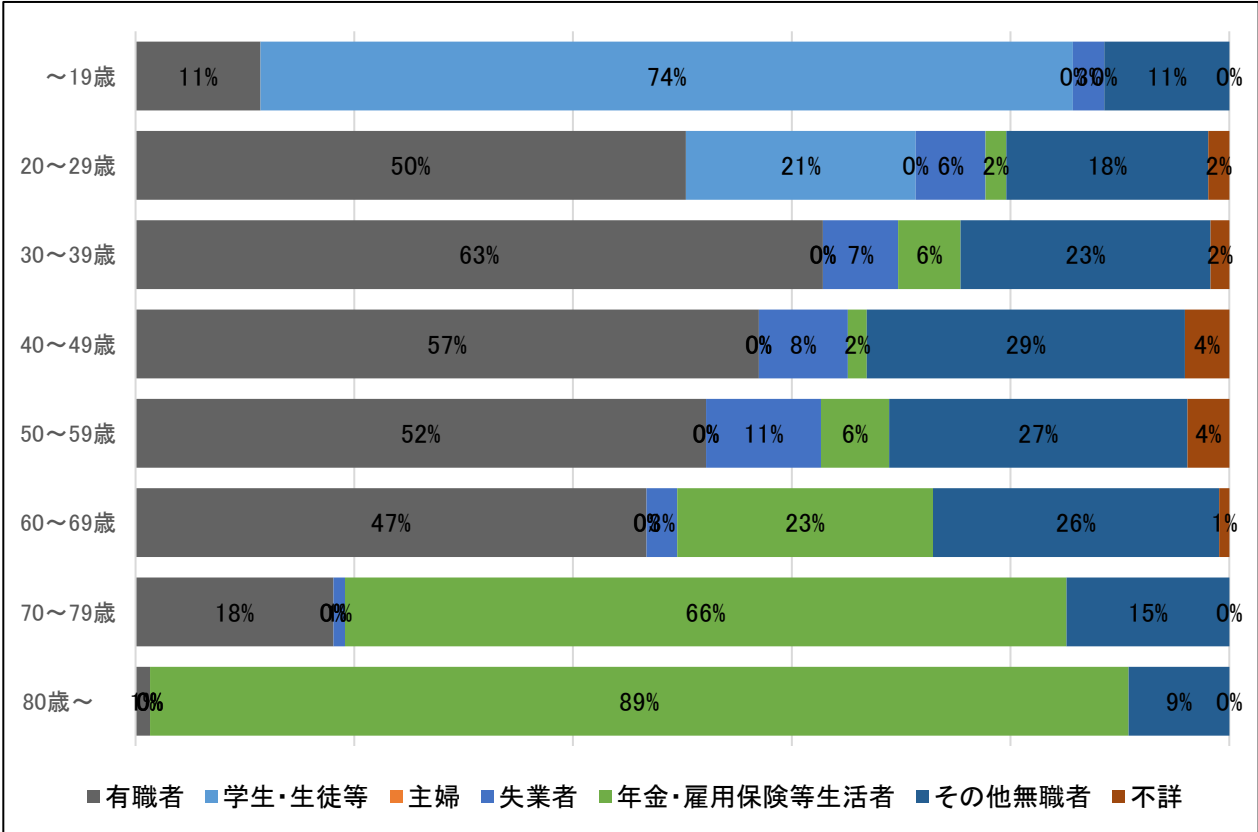
また、男女別に見ると、男性では19歳以下は「学生・生徒等」、20～69歳は「有職者」、70歳以上は「年金・雇用保険等生活者」が最も多く、女性では19歳以下は「学生・生徒等」、20～39歳は「有職者」、40～49歳は「有職者」及び「その他無職者」、50～59歳は「その他無職者」、60歳以上は「年金・雇用保険等生活者」が最も多くなっています。

■ 各年代における職業別自殺者(総数)の割合(直近5年間(2018～2022)合計)



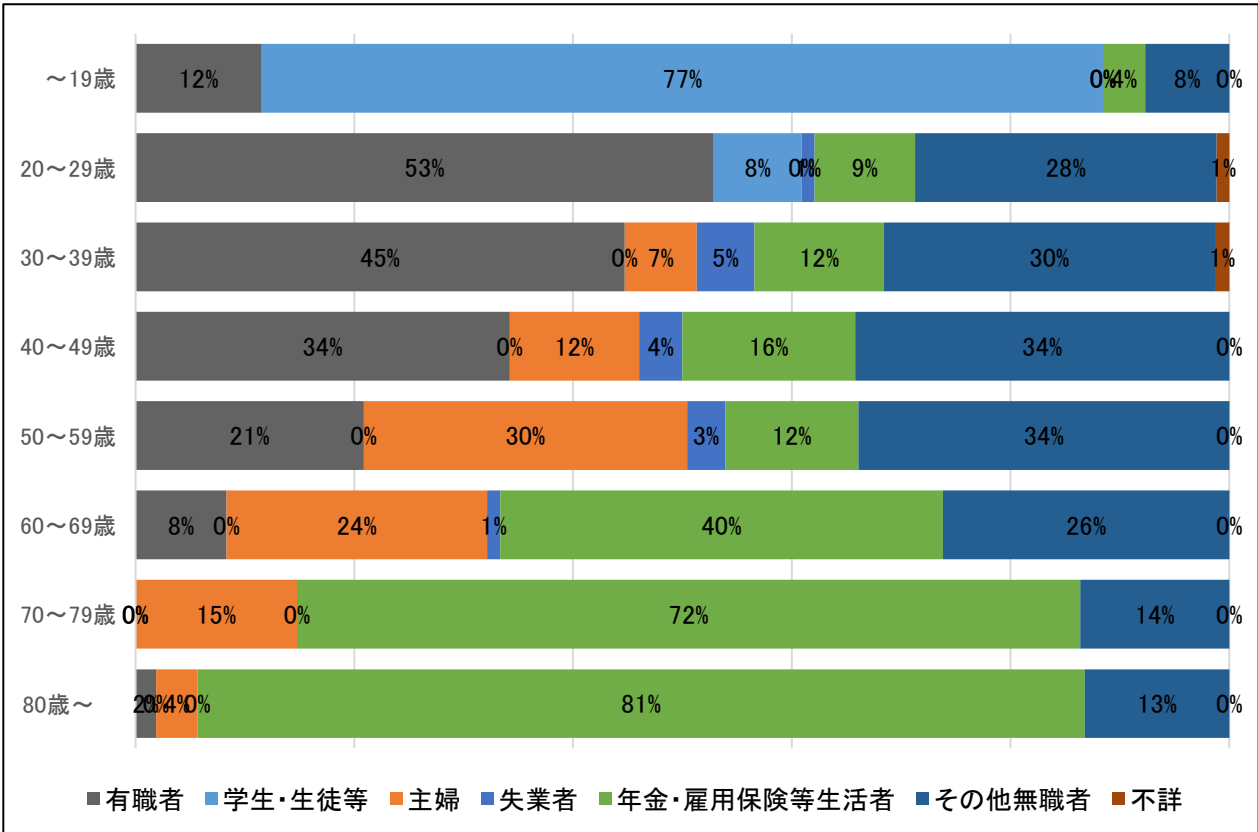
資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

■ 各年代における職業別自殺者(男性)の割合(直近5年間(2018~2022)合計)



資料:警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

■ 各年代における職業別自殺者(女性)の割合(直近5年間(2018~2022)合計)



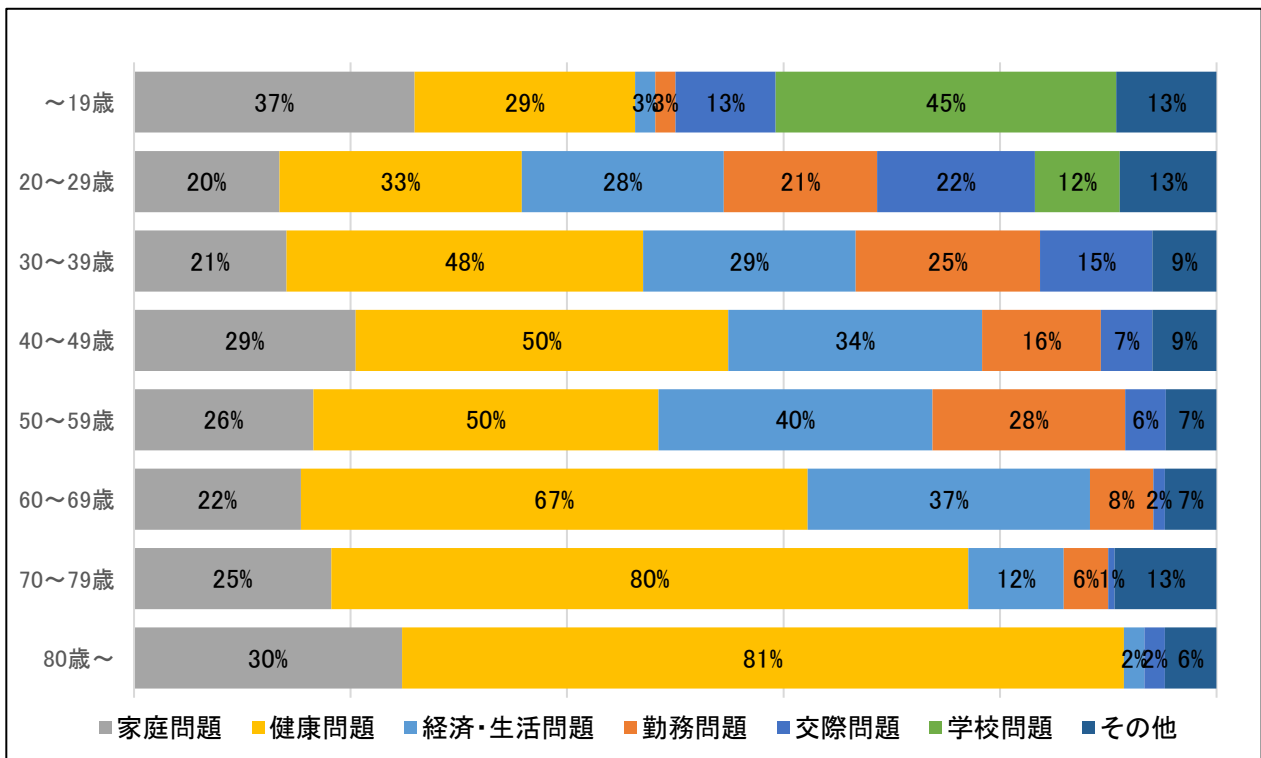
資料:警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

2. 各年代における原因・動機別自殺者の状況

19歳以下は「学校問題」「家庭問題」、20～69歳は「健康問題」「経済・生活問題」、70歳以上は「健康問題」「家庭問題」が上位を占めています。

また、男女別に見ると、男性では19歳以下は「学校問題」「家庭問題」、20～29歳は「経済・生活問題」「勤務問題」、30～69歳は「経済・生活問題」「健康問題」、70歳以上は「健康問題」「家庭問題」が上位を占めており、女性では19歳以下は「家庭問題」「健康問題」、20～29歳は「健康問題」「交際問題」、30歳以上は「健康問題」「家庭問題」が上位を占めています。

■ 各年代における原因・動機別自殺者数(総数)及び割合(直近5年間(2018～2022)合計)

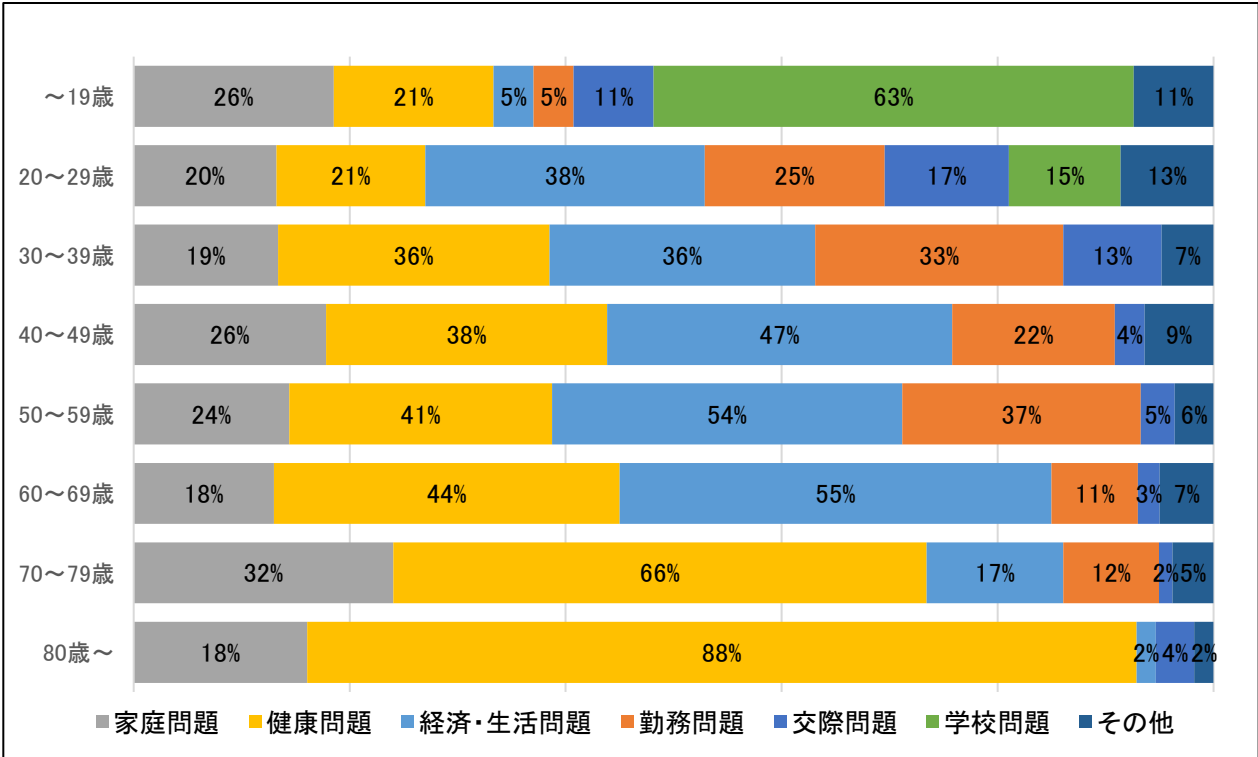


※数値は、各原因・動機の件数を自殺者数(原因・動機「不詳」の者を除く)で除した値。

※原因・動機は複数計上であるため、各年代の合計は100%にならない。

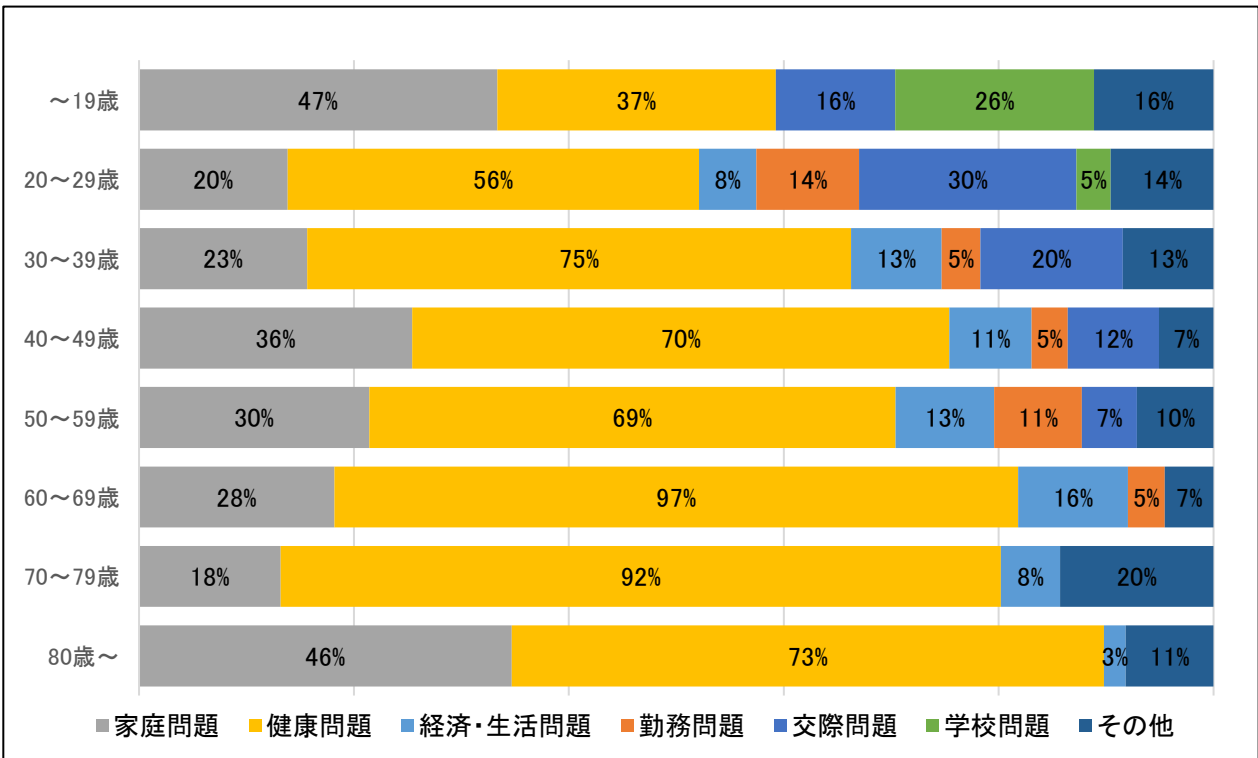
資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

■ 各年代における原因・動機別自殺者数(男性)及び割合(直近5年間(2018～2022)合計)



数値は、各原因・動機の件数を自殺者数(原因・動機「不詳」の者を除く)で除した値。
 ※原因・動機は複数計上であるため、各年代の合計は100%にならない。
 資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

■ 各年代における原因・動機別自殺者数(女性)及び割合(直近5年間(2018～2022)合計)



※数値は、各原因・動機の件数を自殺者数(原因・動機「不詳」の者を除く)で除した値。
 ※原因・動機は複数計上であるため、各年代の合計は100%にならない。
 資料：警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

3. 各職業における原因・動機別自殺者数の状況

(1) 学生・生徒等の自殺

高校生以下の自殺者の主な原因・動機は「家庭問題」「学校問題」となっています。その内訳として、「家庭問題」では「親子関係の不和」、「家族からのしつけ・叱責」が多く、「学校問題」では「学業不振」、「入試に関する悩み」、「進路に関する悩み」が多くなっています。

また、大学生及び専修学校生等の自殺者の主な原因・動機は「経済・生活問題」「学校問題」となっています。その内訳として、「経済・生活問題」では「就職失敗」、「生活苦」が多く、「学校問題」では「学業不振」、「進路に関する悩み」が多くなっています。

さらに、男女別に見ると、高校生以下では男女ともに「家庭問題」が多くなっています。

大学生等では、男性は「経済・生活問題」「学校問題」が多く、女性は「家庭問題」「健康問題」「交際問題」「学校問題」など様々な要因があります。

■ 「学生・生徒等(総数)」の自殺者の主な原因・動機(直近5年間(2018～2022)合計)

区分	自殺者数	主な原因・動機
高校生以下	38人	家庭問題:親子関係の不和、家族からのしつけ・叱責 など 学校問題:学業不振、入試に関する悩み、進路に関する悩み など
大学生及び専修学校生等	48人	経済・生活問題:就職失敗、生活苦 など 学校問題:学業不振、進路に関する悩み など

資料:警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

■ 「学生・生徒等(男性)」の自殺者の主な原因・動機(直近5年間(2018～2022)合計)

区分	自殺者数	主な原因・動機
高校生以下	19人	家庭問題:親子関係の不和、家族からのしつけ・叱責 など 学校問題:入試に関する悩み、進路に関する悩み、教師との人間関係 など
大学生及び専修学校生等	40人	経済・生活問題:就職失敗、生活苦 など 学校問題:学業不振、進路に関する悩み など

資料:警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

■ 「学生・生徒等(女性)」の自殺者の主な原因・動機(直近5年間(2018～2022)合計)

区分	自殺者数	主な原因・動機
高校生以下	19人	家庭問題:親子関係の不和、家族関係の不和、家族からのしつけ・叱責 など 健康問題:病気の悩み・影響(精神疾患) など 学校問題:いじめ など その他:孤独感 など
大学生及び専修学校生等	8人	家庭問題:親子関係の不和 など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響 など 交際問題:交際をめぐる悩み など 学校問題:進路に関する悩み、学業不振 など

資料:警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

(2) 主婦・主夫の自殺

「主婦・主夫」の自殺者の主な原因・動機は「家庭問題」「健康問題」となっています。その内訳として、「家庭問題」では「夫婦関係の不和」が多く、年代が上がるにつれて、「子育ての悩み」、「親子関係の不和」が増加する傾向にあります。

「健康問題」では「病気の悩み・影響（精神疾患）」が多く、年代が上がるにつれて「身体の悩み（身体の病気）」が増加する傾向にあります。

■ 「主婦・主夫」の自殺者の主な原因・動機(直近5年間(2018～2022)合計)

区分	年代	自殺者数	主な原因・動機
主婦・主夫	～39歳	5人	家庭問題:夫婦関係の不和 など 健康問題:病気の悩み・影響(精神疾患) など
	40～59歳	48人	家庭問題:夫婦関係の不和、子育ての悩み など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患)など
	60歳～	35人	家庭問題:親子関係の不和、夫婦関係の不和 など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患)など

資料:警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

(3) 無職者の自殺

「失業者」の自殺者の主な原因・動機は「家庭問題」「健康問題」「経済・生活問題」となっています。男女別で見ると、男性は「経済・生活問題」が多く、女性は「健康問題」が多くなっています。

「年金・雇用保険等生活者」の自殺者の主な原因・動機は「家庭問題」「健康問題」となっています。男女別で見ても、同様の傾向にあります。

「その他無職者」の自殺者の主な原因・動機は「家庭問題」「健康問題」「経済・生活問題」となっています。男女別で見ても、同様の傾向にあります。

■ 「無職者(総数)」の自殺者の主な原因・動機(直近5年間(2018～2022)合計)

区分	年代	自殺者数	主な原因・動機
失業者	～39歳	28人	健康問題:病気の悩み・影響(精神疾患) 経済・生活問題:失業、就職失敗 など
	40～59歳	48人	家庭問題:親子関係の不和、夫婦関係の不和 など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など 経済・生活問題:失業、生活苦、負債 など
	60歳～	5人	健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など 経済・生活問題:失業、生活苦 など
年金・雇用 保険等生活者	～39歳	15人	家庭問題:親子関係の不和、夫婦関係の不和 など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など
	40～59歳	56人	家庭問題:親子関係の不和、家族の死亡 など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など
	60歳～	295人	家庭問題:親子関係の不和、家族の死亡、家族の将来悲観 など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など
その他 無職者	～39歳	122人	家庭問題:親子関係の不和、家族の将来悲観、子育ての悩み など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など
	40～59歳	183人	健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など 経済・生活問題:生活苦、負債 など その他:犯罪発覚等、孤独感 など
	60歳～	90人	家庭問題:家族関係の不和、家族の将来悲観など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など

資料:警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

■ 「無職者(男性)」の自殺者の主な原因・動機(直近5年間(2018～2022)合計)

区分	年代	自殺者数	主な原因・動機
失業者	～39歳	23人	経済・生活問題:失業、就職失敗など 健康問題:病気の悩み・影響(精神疾患)など
	40～59歳	41人	健康問題:病気の悩み・影響(精神疾患)など 経済・生活問題:失業、生活苦、負債など
	60歳～	4人	経済・生活問題:失業、生活苦など
年金・雇用 保険等生活者	～39歳	13人	家庭問題:親子関係の不和など 健康問題:病気の悩み・影響(精神疾患)など
	40～59歳	20人	健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響 (精神疾患)など
	60歳～	155人	家庭問題:夫婦関係の不和、家族の将来悲観など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響 (精神疾患)など
その他 無職者	～39歳	73人	家庭問題:親子関係の不和、家族の将来悲観など 健康問題:病気の悩み・影響(精神疾患)など
	40～59歳	111人	健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響 (精神疾患)など 経済・生活問題:生活苦、負債など その他:犯罪発覚等、孤独感など
	60歳～	49人	健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響 (精神疾患)など

資料:警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

■ 「無職者(女性)」の自殺者の主な原因・動機(直近5年間(2018～2022)合計)

区分	年代	自殺者数	主な原因・動機
失業者	～39歳	5人	経済・生活問題:失業など
	40歳～	8人	家庭問題:親子関係の不和など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)など
年金・雇用 保険等生活者	～39歳	18人	健康問題:病気の悩み・影響(精神疾患)など
	40～59歳	36人	家庭問題:家族の死亡など 健康問題:病気の悩み・影響(精神疾患)など その他:孤独感など
	60歳～	140人	家庭問題:親子関係の不和、家族の死亡など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響 (精神疾患)など その他:孤独感など
その他 無職者	～39歳	49人	家庭問題:親子関係の不和など 健康問題:病気の悩み・影響(精神疾患)など
	40～59歳	72人	健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響 (精神疾患)など 経済・生活問題:生活苦など その他:孤独感など
	60歳～	41人	健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響 (精神疾患)など 経済・生活問題:生活苦、負債など

資料:警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

(4) 有職者の自殺

「自営業・家族従業者」の自殺者の主な原因・動機は「健康問題」「経済・生活問題」となっています。男女別で見ると、男性は「勤務問題」「経済・生活問題」が多く、女性は「健康問題」が多くなっています。

「被雇用者・勤め人」の自殺者の主な原因・動機は「家庭問題」「健康問題」「経済・生活問題」「勤務問題」となっています。男女別で見ると、男性は「経済・生活問題」「勤務問題」が多く、女性は「健康問題」が多くなっています。

■ 「有職者(総数)」の自殺者の主な原因・動機(直近5年間(2018～2022 合計))

区分	年代	自殺者数	主な原因・動機
自営業・ 家族従業者	～39歳	10人	経済・生活問題:負債 など
	40～59歳	43人	健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など 経済・生活問題:事業不振、生活苦、負債 など
	60歳～	19人	経済・生活問題:事業不振、生活苦、負債 など 勤務問題:仕事の失敗 など
被雇用者 ・勤め人	～39歳	266人	健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など 経済・生活問題:生活苦、負債 など 勤務問題:職場の人間関係、職場環境の変化、仕事疲れ、仕事の失敗 など
	40～59歳	254人	家庭問題:夫婦関係の不和、親子関係の不和 など 健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など 経済・生活問題:生活苦、負債 など 勤務問題:職場の人間関係、職場環境の変化、仕事疲れ、仕事の失敗 など
	60歳～	57人	健康問題:身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など 経済・生活問題:事業不振、生活苦、負債 など 勤務問題:職場の人間関係、仕事疲れ、仕事の失敗 など

資料:警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

■ 「有職者(男性)」の自殺者の主な原因・動機(直近5年間(2018～2022)合計)

区分	年代	自殺者数	主な原因・動機
自営業・ 家族従業者	～39歳	10人	経済・生活問題
	40～59歳	42人	経済・生活問題: 事業不振、生活苦、負債など
	60歳～	18人	経済・生活問題: 事業不振、負債 など 勤務問題: 仕事の失敗 など
被雇用者 ・勤め人	～39歳	183人	経済・生活問題: 生活苦、負債 など 勤務問題: 職場の人間関係、職場環境の変化、仕事の失敗、仕事疲れ など
	40～59歳	195人	家庭問題: 夫婦関係の不和、親子関係の不和、その他家族関係の不和 など 健康問題: 身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など 経済・生活問題: 事業不振、生活苦、負債 など 勤務問題: 職場の人間関係、職場環境の変化、仕事の失敗、仕事疲れ など
	60歳～	50人	健康問題: 身体の悩み(身体の病気) など 経済・生活問題: 事業不振、生活苦、負債 など

資料: 警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

■ 「有職者(女性)」の自殺者の主な原因・動機(直近5年間(2018～2022)合計)

区分	年代	自殺者数	主な原因・動機
自営業・ 家族従業者		2人	※個々の自殺者の識別を防ぐとともに秘密を保護するため、秘匿する。
被雇用者 ・勤め人	～39歳	83人	健康問題: 身体の悩み(身体の病気)、病気の悩み・影響(精神疾患) など 交際問題: 失恋、不倫・浮気、その他交際をめぐる悩み など
	40～59歳	59人	家庭問題: 夫婦関係の不和、親子関係の不和 など 健康問題: 病気の悩み・影響(精神疾患) など 勤務問題: 職場の人間関係、仕事疲れ など
	60歳～	7人	健康問題: 身体の悩み(身体の病気) など

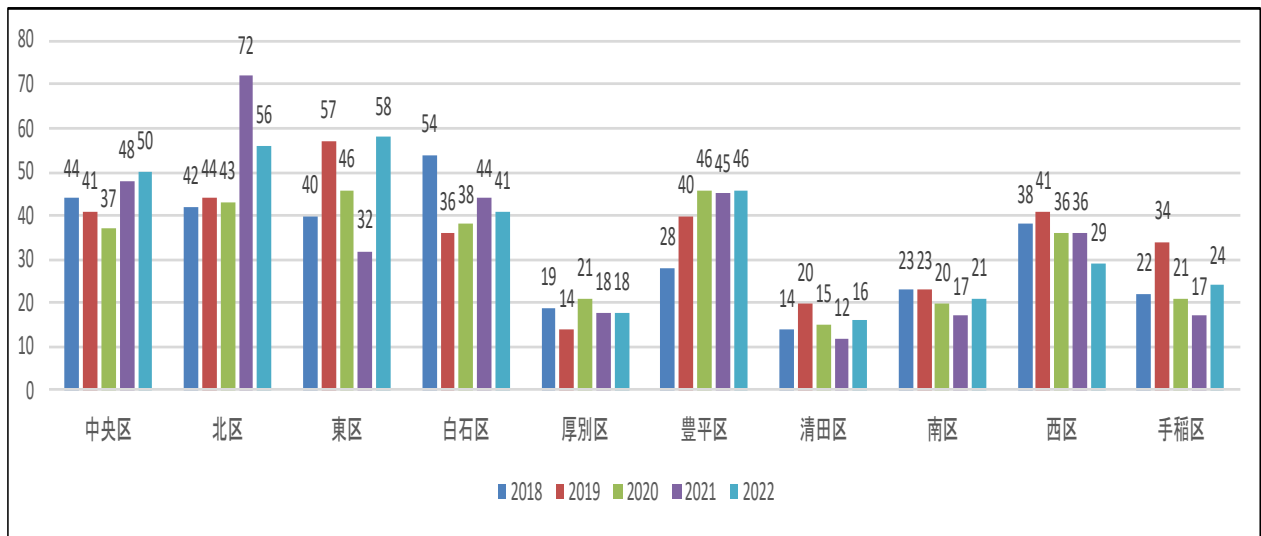
資料: 警察庁自殺統計原票データを厚生労働省自殺対策推進室において特別集計した資料を基に作成

第3部 各区における自殺の状況

各区における直近5年間の自殺者数は、北区、東区、中央区の順に多く、清田区、厚別区、南区の順に少ない状況です。また、自殺死亡率は、白石区、中央区、豊平区の順に高く、清田区、厚別区、南区の順に低い状況です。

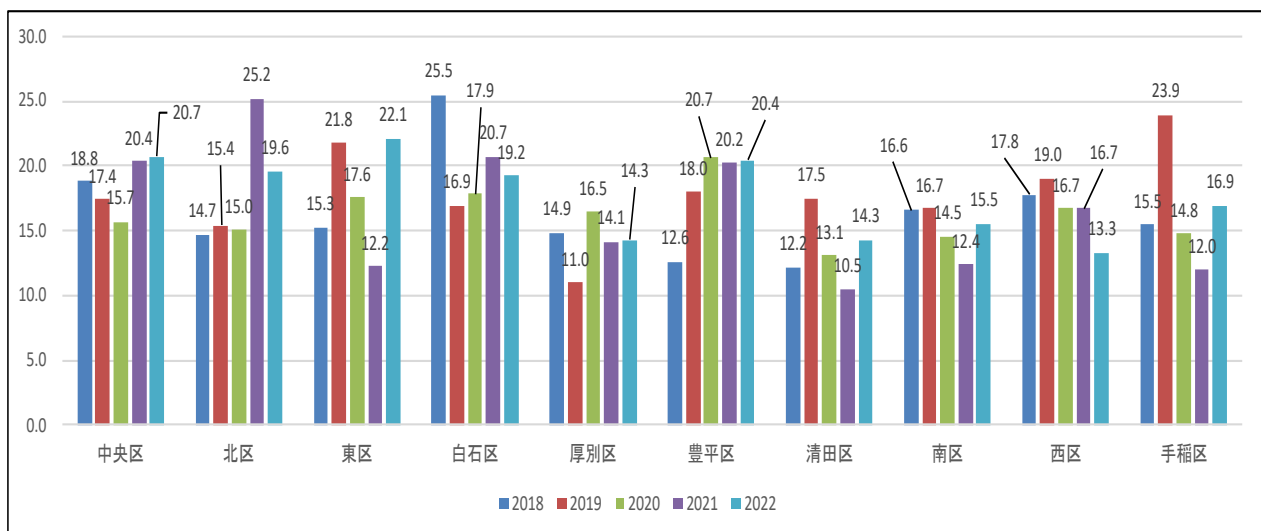
自殺死亡率を年代別で見ると、19歳以下では東区、20～29歳では白石区、30～39歳では中央区、40～59歳では白石区、60～69歳では西区、70歳以上では手稲区が最も高い状況です。

■ 各区の自殺者数の推移 (単位：人)



資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

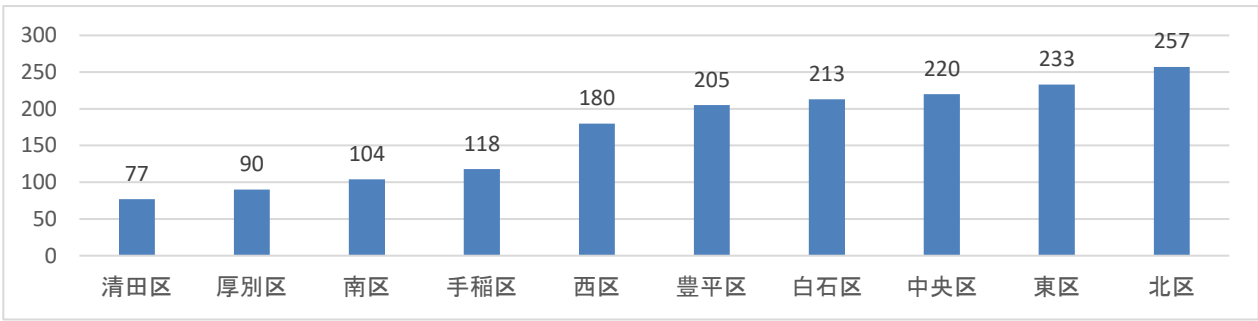
■ 各区の自殺死亡率の推移 (単位：人口10万人あたり)



資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」及び総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」を基に作成

■ 各区の自殺者数(直近5年間(2018~2022年)合計)

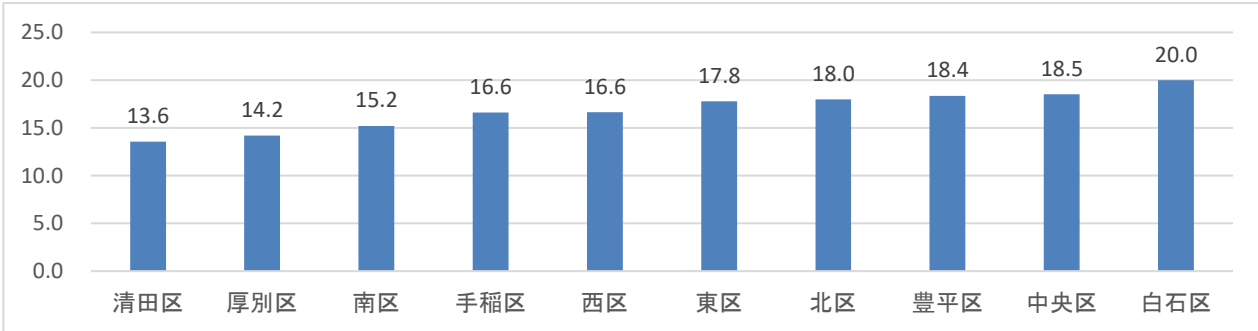
(単位:人)



資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」を基に作成

■ 各区の自殺死亡率(直近5年間(2018~2022年)平均)

(単位:人口10万人あたり)



資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」及び総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」を基に作成

■ 各区の年代別自殺死亡率(直近5年間(2018~2022年)平均)

(単位:人口10万人あたり)

順位	19歳以下		20~29歳		30~39歳		40~49歳	
	区名	自殺死亡率	区名	自殺死亡率	区名	自殺死亡率	区名	自殺死亡率
1	東区	6.7	白石区	29.9	中央区	29.8	白石区	26.8
2	豊平区	5.6	北区	28.8	手稲区	24.2	西区	24.6
3	中央区	4.3	東区	28.7	豊平区	22.7	厚別区	22.4
4	手稲区	4.2	中央区	26.6	白石区	21.2	北区	21.6
5	西区	3.6	豊平区	24.2	東区	20.4	豊平区	21.2
6	北区	3.4	厚別区	20.3	北区	18.1	中央区	21.0
7	白石区	3.2	西区	17.9	厚別区	17.1	手稲区	20.5
8	南区	3.1	南区	17.9	西区	17.1	清田区	20.4
9	厚別区	2.1	清田区	16.5	南区	15.3	東区	18.4
10	清田区	2.0	手稲区	10.6	清田区	12.3	南区	16.0
	札幌市	4.1	札幌市	24.3	札幌市	21.0	札幌市	21.5
順位	50~59歳		60~69歳		70~79歳		80歳以上	
	区名	自殺死亡率	区名	自殺死亡率	区名	自殺死亡率	区名	自殺死亡率
1	白石区	31.0	西区	18.5	手稲区	22.0	手稲区	22.6
2	東区	30.8	南区	18.2	白石区	21.2	北区	21.7
3	豊平区	27.0	豊平区	17.5	南区	17.5	清田区	19.5
4	手稲区	25.8	中央区	15.9	北区	17.4	西区	18.1
5	北区	24.6	東区	15.4	清田区	15.4	南区	15.7
6	厚別区	21.0	北区	14.2	西区	13.9	厚別区	15.5
7	西区	20.4	白石区	12.1	中央区	13.7	中央区	15.4
8	南区	18.5	清田区	11.2	豊平区	13.3	豊平区	12.1
9	中央区	18.4	手稲区	8.2	東区	12.1	白石区	11.0
10	清田区	17.6	厚別区	8.1	厚別区	11.3	東区	8.9
	札幌市	24.1	札幌市	14.3	札幌市	15.7	札幌市	15.8

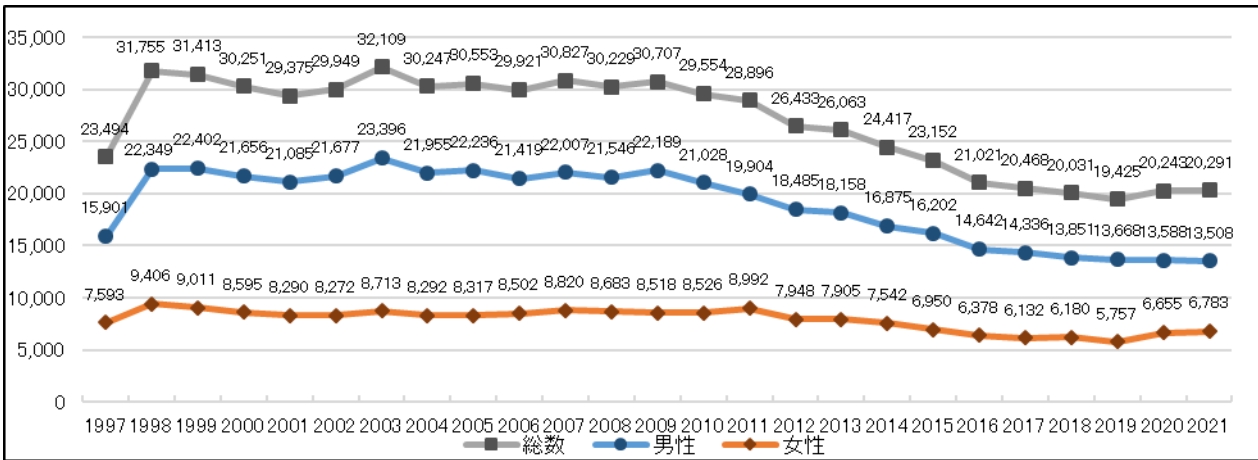
資料:厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」及び総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」を基に作成

※順位は、小数点第2位以下で判断した。

資料

■ 全国における自殺者数の推移

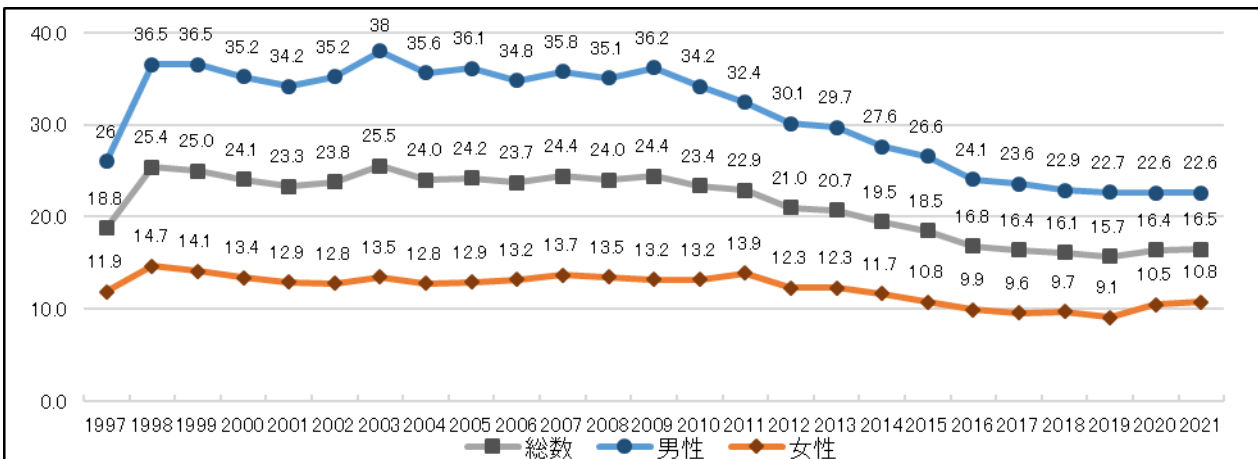
(単位：人)



資料：厚生労働省「人口動態統計」

■ 全国における自殺死亡率の推移

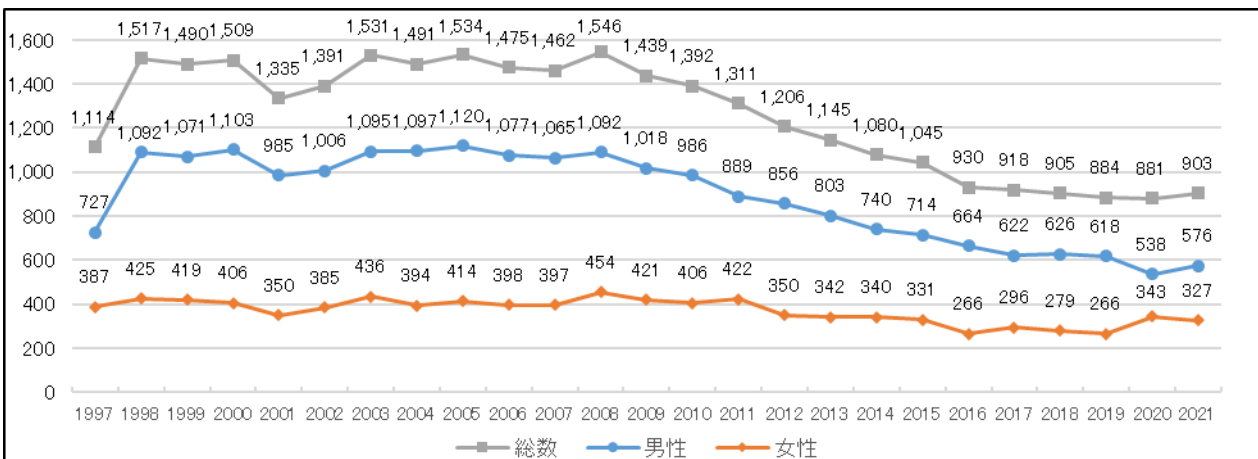
(単位：人口10万人あたり)



資料：厚生労働省「人口動態統計」

■ 北海道における自殺者数の推移

(単位：人)



資料：厚生労働省「人口動態統計」

札幌市の自殺の現状

令和5年12月更新版

本資料に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒060-0042

札幌市中央区大通西19丁目 WEST19 4階

札幌市精神保健福祉センター（札幌こころのセンター）

電話番号 011-622-5190（代表）